

第80回国民スポーツ大会

剣道競技会

—— 青の煌めきあおもり国スポ ——

The 80th JAPAN GAMES

SHICHINOHE
KENDO Competition

会場：七戸町総合アリーナ



会期：2026年

10月17日(土)～10月19日(月)

主催

公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・青森県
公益財団法人全日本剣道連盟・七戸町

2026 AOMORI

第80回国民スポーツ大会

The 80th JAPAN GAMES

国民スポーツ大会（国スポ）は、都道府県対抗で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。本県での開催は、前回のあすなろ国体^{（※）}以来49年ぶりであり、前回同様、冬季大会と本大会を同一県で開催する「完全国スポ」です。

※2024年から「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わりました。

あすなろ国体とは？

昭和52年、青森県で国体史上初となる完全国体（冬・夏・秋と3季にわたり行われる大会を同一県で実施した国体）として、第32回国民体育大会（あすなろ国体）が県内各地で華々しく開催され、本県は天皇杯を獲得しました。



■ 大会愛称

青の煌めきあおもり国スポ

青い空、青い海や湖、青い山並みなど美しく豊かな自然に恵まれた青森県で、あおもり国スポに参加する全ての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。

■ スローガン

翔けろ未来へ縄文の風に乗って

縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。

■ イメージソング「翔けろ未来へ」



作詞：井元 仁江
作曲：T. Mikami
編曲：多田 慎也、島田 尚
歌唱：りんご娘
（ピンクレディ、
スターキングデリシャス、
はつ恋ぐりん、金星）

■ ダンス「青の煌めきダンス」



イメージソング「翔けろ未来へ」にあわせ、振付けに青森県を表現するポーズやねぶたの跳人の動き、手話による表現などを盛り込んだ、青森らしいユニバーサルデザインダンスです。

■ 公式マスコット



「アップリート君」

特徴ある県の形と、ハチマキの中央にある「りんご」で青森県を表現しています。

LINEスタンプも販売！



最新情報は公式アプリ・HP・SNSで！

公式アプリ



Q あおもり国スポ 検索
今すぐ無料ダウンロード！

公式HP



X



Instagram



YouTube



目 次

あいさつ

第80回国民スポーツ大会会長	公益財団法人日本スポーツ協会会長	遠藤 利明	1
文部科学大臣		松本 洋平	2
公益財団法人全日本剣道連盟会長		真砂 威	3

歓迎のことば

青森県知事		宮下 宗一郎	4
青の煌めきあおもり国スポ七戸町実行委員会会長	七戸町長	田嶋 邦貴	5
青森県剣道連盟会長		三上 順一	6

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	7
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	8
大会役員	9
競技会役員	13
競技役員	15
審判員	17
競技補助員・ボランティア・競技会係員	18
実施要項	
総則	19
剣道競技（競技別実施要項）	20
式典次第	24
競技日程・諸会議日程	25
試合タイムテーブル	27
組合せ表	28
剣道競技の見方	33
剣道の理念・修錬の心構え・指導の心構え	35
都道府県参加人員一覧表	36
参加選手・監督一覧	37
総合成績一覧表	49
ブロック大会参加状況	50
過去の成績一覧（栄光のあと）	51
関係機関連絡先一覧	59
競技会場・練習会場案内図	60
競技会場マップ・競技会場案内図	61
公益財団法人全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧	65

あいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会

会長 遠藤 利明

はじめに、本年7月28日に発生した令和8年熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、同地震及び昨年12月8日に発生した青森県東方沖地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈りいたします。

第80回国民スポーツ大会は、本年1月から2月に行われた冬季大会と併せ、「完全国スポ」として開催いたします。

第71回岩手大会以来、10年ぶりとなる「完全国スポ」を締めくくる本大会が、縄文の時代から育まれてきた歴史と文化を有し、豊かな風土に恵まれた本州最北の地、ここ青森県において開催されますことは、誠に意義深いことであります。

本年は、第25回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ）、サッカーFIFA ワールドカップ2026、第20回アジア競技大会（愛知・名古屋）などの大規模な国際総合競技大会が開催され、多くのアスリートの目覚ましい活躍が、私たちに大きな勇気を届けています。

本大会が「翔ける未来へ縄文の風に乗って」というスローガンの通り、出場するアスリートの皆様にとって、世界へ羽ばたく契機となることを切に願っています。

さて、日本スポーツ協会では、「有識者会議」からの提言に基づき、令和7年7月、改革を具体的に進める組織として、「国スポ改革タスクフォース」を設置しました。

今後、現状と課題を分析し、国民スポーツ大会が競技性・祝祭性・社会性・文化性を掛け合わせた、「トップアスリートと地域スポーツの好循環 ～人と地域の未来を創る～」という理念を具現化できる大会となるよう、検討を進めているところです。

結びに、地震からの復旧に取り組みながら、本大会の開催にあたり諸準備にご尽力いただきました 青森県をはじめ、関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。

あいさつ



文部科学大臣

松 本 洋 平

はじめに、令和8年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

文部科学省としては、被災された熊本県をはじめとする自治体への支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

天皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ青森県において昭和100年記念 第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

青森県は、世界自然遺産の「白神山地」、四季折々の表情を見せる「八甲田山」や「岩木山」など豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」や重要無形民俗文化財である「青森のねぶた」など、自然と文化が息づく県です。

昭和52年のあすなろ国体以来49年ぶりの青森県での開催となり、「翔ける未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

本大会は、史上初となる総合開会式・閉会式の屋内開催に加え、大会公式アプリによる競技情報や結果速報の提供、デジタルチケットの活用などデジタル技術の活用により、選手と観客双方に配慮した大会運営となっています。「青の煌めきあおもり国スポ」が、国民に夢と感動を与え、青森県の魅力発信と活性化につながる大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や青森県民の皆さんとの交流を通じて、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は、愛知・名古屋において、第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「青の煌めきあおもり国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元青森県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。

(令和8年7月31日現在)

あいさつ



公益財団法人全日本剣道連盟

会長 真 砂 威

さわやかな季節を迎え、全国都道府県を代表する精鋭が「七戸町総合アリーナ」に集い、第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」剣道競技が開催されるにあたり、ご挨拶申し上げます。

各都道府県剣道連盟におかれましては、予選会の開催などご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

また、去る7月28日に発生した熊本地震により、熊本県で大きな被害が発生しております。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、今回の地震によりお亡くなりになられた方々に、謹んで哀悼の意を表します。一日も早い復旧・復興を願うとともに、剣道界におきましても、互いに支え合い、励まし合う心を大切にしていきたいと思います。

国民スポーツ大会は、国民の健康増進と体力の向上を図り、健全な国民生活の実現を目指すものとして戦後始まりました。剣道は、敗戦により活動が制限されていた時期を経て、昭和30年第10回大会より、正式参加となりました。それ以来、永年に亘り本大会を目標として、各都道府県において剣道の強化が行われることとなり、全国的なレベルアップに大きな役割を果たしております。

また、中学校体育の授業で武道が必修となり、剣道の魅力が多くの子どもたちに伝わることを期待しております。開催県・開催市町村においても剣道への関心度が高まり、その素晴らしさを感じていただければ幸いです。

日本で培われた伝統文化である剣道は、心身を錬磨することによる人間形成の道であります。各層・各年代の選手が参加する剣道は、国民スポーツ大会の目指す生涯スポーツそのものであると言えます。これからも「剣道の理念」「剣道修錬の心構え」「剣道指導の在り方」を念頭に置き、剣道の普及発展を図るための諸施策を推進し、広く青少年の健全育成に寄与していく所存であります。

本大会に出場の選手の皆さんには、郷土の代表としての荣誉と、自己の名誉にかけて、日頃の修錬の成果を遺憾なく発揮され、剣道の伝承と発展に貢献されることを希望いたします。

結びに、本大会の運営にあたられました青森県・七戸町・青森県剣道連盟並びに関係各位のご尽力に対し、衷心より御礼申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆様のご健闘を祈念し、ご挨拶いたします。



歓迎のことば

青森県知事 宮下 宗一郎

はじめに、令和８年熊本地震によってお亡くなりになられた方々に、深く追悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

昭和１００年記念青の煌めきあおもり国スポ「第８０回国民スポーツ大会」が昭和元年（１９２６年）から起算して満１００年の節目となる年に、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、青森県において開催されますことをお喜び申し上げます。そして、全国各地からお越しくださいました選手及び関係者の皆様を、県民を代表して心から歓迎いたします。

「青の煌めきあおもり国スポ」は、史上初の完全国体である「あすなろ国体」以来４９年ぶりとなる青森県での開催であり、国民体育大会から国民スポーツ大会に大会名称が変更されてから、初の“完全国スポ”となります。

「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、美しく豊かな自然の恵みを受けながら、一万年以上にわたり縄文文化が営まれていたこの青森の地で生まれる新たな歴史と感動、そしてこれを希望ある未来へつなげていきます。

“スポーツで青森県が一つ”に、“私たち県民の心がスポーツで一つ”になる、「青森新時代」の大会を目指し、県民総参加で青森県を青の煌めき一色に染め上げ、スポーツの祭典を盛り上げたいと考えています。

選手の皆様には、日々の練習で培ったパフォーマンスを存分に発揮されますとともに、感動と温かい交流にあふれ、皆様の心に残る最高の大会となることを願っています。

結びに、今大会の開催に御尽力されました関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、今大会の成功と選手の皆様の御健闘をお祈りし、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ七戸町実行委員会会長

七戸町長 田 嶋 邦 貴

本論に先立ちまして、「令和8年熊本地震」により被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」剣道競技会の開催にあたり、全国各地から選手、監督、関係者の皆様をお迎えし、ここ七戸町で開催できますことは誠に喜ばしく、町民を代表いたしまして心から歓迎申し上げます。また、本大会の運営を支えてくださる役員やボランティア、すべての関係各位の並々ならぬご尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表します。

七戸町での開催は、昭和52年開催の「あすなろ国体」以来49年ぶりとなり、当町では剣道競技を実施いたします。

七戸町は、古くから名馬の産地として知られ、現在は東北新幹線「七戸十和田駅」を街の玄関口に、豊かな自然と歴史が調和する町です。現在、この駅周辺エリアの活性化に町を挙げて取り組んでおり、皆様をお迎えする主要拠点である「道の駅しちのへ」は、県内外から多くの人々が訪れる人気のスポットとなっております。その中にある「しちのへ産直七彩館」では、特産の長いもや黒にんにくをはじめ、こだわりの地場産品が並び、地元の食の魅力を発信しております。さらに、同エリアに併設された「鷹山宇一記念美術館」では、当町出身の洋画家である鷹山宇一の幻想的な名画や、彼が愛蔵した美しいアンティークランプのコレクション、国指定重要有形民俗文化財の「南部小絵馬」などが展示され、訪れる人々に贅沢な文化のひとときを提供しています。

また、七戸町には、約五千五百年前の縄文時代から続く大規模な集落遺跡であり、ユネスコの世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である「史跡 二ツ森貝塚」があります。

このように、豊かな自然と輝かしい歴史文化が息づく七戸町において、日頃の鍛錬の成果を競い合う皆様をお迎えできたことは、私どもの大きな喜びであり誇りです。

剣道は、技術の向上のみならず、礼節を尊び心身を鍛える日本の伝統武道です。

選手の皆様におかれましては、これまでに培った実力と「交剣知愛」の精神を遺憾なく発揮され、互いの健闘を称え合う素晴らしい試合を期待しております。

また、試合の合間には当町の穏やかな自然に癒やされ、地元の味覚や文化に触れることで、皆様にとって一生の思い出となる素晴らしい時間としていただければ幸いです。

終わりに、本大会の成功と、皆様のご健闘、そして今後ますますのご発展をご祈念申し上げ、歓迎のあいさつといたします。



歓 迎 の こ と ば

青森県剣道連盟

会長 三 上 順 一

皆さま、ようこそ「道の奥」、みちのく七戸においでくださいました。心より歓迎申し上げます。

鎌倉時代の初めに、幕府から、良馬を育てるのが得意な甲斐の国の南部氏がこの地方が与えられ、岩手県北の一戸、二戸から順に北上して牧場をつくり、一番北の七戸から南に下がり岩手県の九戸に至っております。

さて、この度は全国津々浦々から‘陸奥の尾駁の駒’にも優る若き駒たちが「青の煌めきあおもり国スポ」にお集まりいただきました。皆、必ずや会場せましと元気に駆け回り、その躍動疾駆を見せて下さると期待しております。

『呂氏春秋』に戦いにおいて守らなければならない基本原則が記されています。第一に正義に基づくこと。そうすれば敵は孤立し混乱におちいる。次に、思慮が働くこと。時機の変化を知り、敵の虚実を知れば、自軍の取るべき戦術を知ることができる。最後に必ず勇気があること。そうすれば適時に判断することで攻勢は正しく稲妻のように迅速になる。

また、君子たるものが実践する道は「かえりみてやましがなく、道理をわきまえ、信じることに突進する」でなければいけません。

選手の皆様の「憂えず、惑わされず、懼れない」立ち振る舞いは必ずや、剣道を愛する観衆の手本となることでしょう。

郷土のために戦う、全国のつわもの共の、勢いのある戦いを期待しています。

『索めずんば 何をか獲ん』



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

大会役員

2026年7月31日現在
(順不同・敬称略)

名 誉 会 長	松 本 洋 平				
会 長	遠 藤 利 明				
副 会 長	益 子 直 美	田 中 不 二 夫	三 宮 恵 利 子	森 岡 裕 策	
	河 合 純 一	宮 下 宗 一 郎			
顧 問	森 喜 朗	安 西 孝 之	岡 崎 助 一	越 川 均	
	坂 元 要	勝 田 隆	飯 塚 悟	池 田 めぐみ	
	石 井 砂 織	植 田 実	浦 美 奈 子	笠 師 久 美 子	
	鹿 島 丈 博	木 平 芳 定	工 藤 保 子	久 保 正 美	
	小 寺 洋	櫻 井 由 香	中 嶋 実	橋 本 聖 子	
	村 松 さやか	室 伏 由 佳	湯 川 和 之	吉 岡 成 子	
	久 保 直 生	藤 田 裕 司	藤 原 誠	室 城 信 之	
	金 子 日 出 澄	貝 瀬 智 洋	森 晃	土 橋 登 志 久	
	石 丸 元 国	多 氣 洋 平	井 崎 洋 志	鬼 頭 有 紀 子	
	長 谷 川 洋 子	吉 田 長 寿	齋 木 尚 子	多 賀 恒 雄	
	安 藤 淳	上 治 丈 太 郎	湧 永 寛 仁	三 宅 秀 一 郎	
	佐 藤 健 司	馬 場 美 香	堺 充 廣	南 和 文	
	宮 永 美 寿 津	千 田 健 一	中 里 壮 也	岡 本 友 章	
	大 野 淳	永 谷 喜 一 郎	田 村 恒 彦	蒔 田 実	
	山 崎 勝 洋	浅 見 敬 子	山 口 徹 正	田 中 伸 周	
	村 田 利 衛	建 部 彰 弘	市 野 保 己	丸 石 博	
	中 村 ゆり子	齋 藤 良 太 郎	谷 田 部 和 彦	木 村 博 美	
	井 上 弘	今 川 啓 一	近 藤 重 和	池 谷 正 成	
	大 澤 明 美	古 城 資 久	小 野 賢 二	園 山 和 夫	
	中 山 俊 行	田 中 徹	知 念 かおる	出 口 弘 之	
	田 邊 哲 人	城 門 政 文	前 川 恵	園 田 義 宜	
	布 村 幸 彦	川 原 元 則	生 島 典 明	大 沢 陽 子	
	谷 藤 節 雄	中 村 伸 彦	千 葉 玲 佳	奥 山 雅 信	
	酒 井 祐 一	藤 田 知 巳	北 條 俊 明	田 子 昌 之	
	新 井 彰	山 崎 成 夫	塩 見 清 仁	田 名 部 高 雄	
	井 出 仁	今 西 博 一	中 村 宏 平	新 保 暢	
	森 山 喜 博	横 山 幹 夫	花 崎 武 彦	高 橋 繁 浩	
	山 本 健 次	増 田 和 伯	藤 堂 寛	山 本 誠 三	
	松 本 恭 幸	東 直 也	奥 田 晃	横 尾 英 治	
	小 西 慎 太 郎	近 藤 一 幸	堂 本 ひ さ 美	河 村 祐 一	
	渡 邊 浩 三	田 中 稔 彦	高 岡 晃 仁	青 木 章 泰	
	城 戸 英 敏	小 柳 勝 彦	辛 木 秀 子	宮 成 康 藏	

若林繁幸	岩元幸成	平良朝治	藤原正樹
新宮領毅	川上隆弘	佐藤廣子	奈良隆
小菅司	宇津木妙子	菊村裕一	小林久美
寺澤正孝	山口純子	中村裕之	小林茂樹
清水真人	福田かおる	増子宏行	矢野和彦
柿田恭良	茂里毅	浅野敦	津島淳
神田潤一	木村次郎	江渡聡徳	田名部匡代
福士珠美	山中泉	工藤慎康	風張知子
横町俊明	西秀記	濱舘豊光	尾崎寿一
鈴木進	三本木温	有森裕子	鈴木大地
宮本恒靖	深澤祐二	坂田東一	三須和泰
川合俊弘	藤岡良治	島田慎二	富山英明
馬場益也	砂岡章男	金丸恭正	安道光二
河田正満	豊田満次	後藤砂弘	中村雅人
河合幸男	村井正淳	真耕保	土川善弘
町田富中	大野居光英	世久北村	笹川秀樹
納賀一宏	岩城有司	北村美栄	荒川清士
津増拓也	鶴田富可子	吉村藤祐	北村元裕
大井川和彦	小谷実之義	遠岡石谷	花角英世
熊谷八朗	山野義隆	中谷脇多	高村秀章
新部守一	田口祥二	西脇隆俊	高橋昭史
伊藤歳彦	高橋健夫	宮崎章	林昭男
斎藤達也	福谷孝昌	迫谷岩男	村岡純子
丸山正純	綾田裕次郎	大塚田研	今城敬
後藤誠太郎	宮原耕俊	平塩田康一	木城デニ
服部益直	日隈杉住	塩田村宇一	玉城美香
麻生圭己	大安藤晴	中吹信一	廣井貴彦
阿部正勝	大崎光明	大澤祥宏	大澤敏彦
蛭平陽子	小笠原大佑	川村ユキ子	菊池兼光
北向樹平	木明和人	櫛引類卷	工藤博
工藤悠孝	後藤清爾	小比類内	今清水悦郎
斉藤修一	齊藤紀子	鹿田中達	清田名部
高橋深雪	高畑賀谷	寺田	夏坂修

寺垣	佑介	柿崎	繁信	橋口	真夕	田中	遙太
町屋	毅博	山本	高史	松橋	伸哉	長谷川	光昭
白幡	博久	田畑	幸浩	加藤	雄樹	小林	健也
幸田	和洋	大貫	大輔	小池	則之	今井	隆元
三浦	理	舟木	雅美	阿部	哲也	片岡	英史
福居	久志	三武	紀子	長坂	嘉久	井澤	克行
林剛	史	稲葉	晴伸	森島	哲也	和田	吉史
中野	真吾	佐々木	智也	木原	哲也	越智	敏文
小林	悟	中嶋	純也	前田	康博	松本	守正
松本	綾子	中田	健治	石津	雅之	加藤	泰
高田	孝行	日野	剛	前田	義朗	笠井	康行
尾鷲	一成	川端	利行	濱本	昌宏	吉野	賢一郎
都甲	尚生	山元	尚史	黒田	裕史	高野	瑞洋
遠藤	信哉	角屋	憲正	千葉	雅也	菅間	裕晃
岡崎	正彦	角田	真司	加藤	木紳	柄澤	宏之
杉田	聡	塩田	憲司	藤丸	伸和	河野	公紀
碓井	稔	武田	知己	井上	哲	今後	元彦
沼田	守弘	田部	長右衛門	松井	守	吉岡	直彦
高岡	晃仁	葛目	憲昭	寺崎	雅巳	田島	祥嗣
荒木	健治	平江	公一	黒木	淳一郎	城間	敏生
丹羽	浩彰						

競 技 会 役 員

(順不同・敬称略)

名 譽 会 長	田 嶋 邦 貴			
名 譽 顧 問	張 富 士 夫	網 代 忠 宏		
会 長	真 砂 威			
副 会 長	藤 原 崇 郎	中 谷 行 道	蒔 田 実	三 上 順 一
	浜 村 良 一	附 田 良 亮		
顧 問	上 田 憲 幸	福 本 修 二	氏 家 道 男	大 嶽 將 文
	梯 正 治	草 間 純 市	黒 郷 源 慈	小 坂 達 明
	島 野 泰 山	末 平 佑 二	豊 村 東 盛	中 田 琇 士
	二子石 貴 資	牧 瀬 憲 保	水 田 重 則	三 宅 一 志
	宮 原 昇 治	宮 坂 信 之	宮 坂 昌 之	附 田 俊 仁
	森 田 勝 博			
参 与	岡 嶋 恒	小 松 誠	安 部 美知雄	小笠原 宏 志
	井 上 雅 勝	武 藤 士 津 夫	白 石 正 範	小 林 一 隆
	栗 原 憲 一	千 葉 胤 道	岩 井 啓 能	野見山 延
	山 本 洋 一	荻 莊 誠	近 藤 繁 彦	牧 本 雄 一
	片 山 外 一	二 木 む つ み	二 橋 高 弘	堤 俊 彦
	中 森 博 文	中 野 正 堂	伊 吹 文 明	長 榮 周 作
	吉 田 克 法	世 耕 弘 成	池 田 公 律	宮 川 健
	田 中 秀 和	堤 慶 一	佐 伯 友 茂	高 木 弘 伸
	三 原 悦 男	俊 野 徹 人	渡 邊 三 則	西 谷 肇 一
	青 柳 俊 彦	川 上 春 生	灰 谷 達 明	三 浦 悟
	山 下 照 喜	橋 口 光 博	小 松 信 明	大 城 朝 德
	山野辺 辰 美	里 村 誠 悦	佐 藤 信 隆	妻 神 敬 悦
	時 吉 重 雄	大 木 春 男	和 田 浩 康	長 内 淳 介
	工 藤 一 夫	小 山 秀 弘	外 崎 憲 治	前 田 武 興
	岩 本 博 人	今 村 茂 也	近 藤 将 造	下川原 堅 蔵
	川 村 和 隆	高 田 眞 一	中 野 昭 弘	松 本 慶 祐
	岡 村 茂 雄	田 島 政 義	三 上 正 二	田 嶋 輝 雄
	瀬 川 左 一	佐々木 寿 夫	市 清 悦	工 藤 章
	澤 田 公 勇	小 坂 義 貞	二ツ森 英 樹	向中野 幸 八
	山 本 泰 二	中 野 正 章	藤 井 夏 子	山 田 典 郎
	菊 池 龍 達	盛 田 元 之	半 崎 雪 子	仁 和 圭 昭
	鳥谷部 慎一郎	田 中 健 一	佐 藤 源 太	高 田 美由紀
	阿 部 泰 晴	大沢田 慎 一	金 見 真 樹	澤 山 晶 男
	向中野 洋 人	中 村 陽 一	高 田 博 範	佐々木 和 博

委員長
委員
副委員長

也夫彦一輔治一造人満康かなえ彦二男俊一子史将也樹人四郎
上野平谷藤岡中田盛仁中濱倉上谷吉大親小杉原吉石鶴吉笹
三西大新伊富田盛仁中濱倉上谷吉大親小杉原吉石鶴吉笹

一健二由美司也晃則吉秀嗣世男秀一郎美里男司子隆大仁気
淳勇亜順拓忠勝郡謙満常温健清真建政洋啓祐勇
屋上川場市頭中栗田郡池米藤藤温田原西馬本保良脇部坂
町井瀬番種田坪田小香大軽内伊太川小相松安奈山阿赤

一男純将藏子幸治輝厚子平男由美二豐里治美之樹成子
伸教一幸愛義利将藤亮和知真恒佳英雅雅繁一桂
部村谷内松間端田山佐藤近古秋大木佐道横岡矢中足打
鳥谷田熊栩高天川前丸

徳智美俊門勤博子純行美人行子優広子昭修三香
和月政右_ニ一志穂正清政勇夏佳木光由成良大友
馬村村又間一中川藤原東田久保入尾岡野内邊森
相木中白石天田吉工篠松安小久澤長吉長鹿渡藤

競 技 役 員

(順不同・敬称略)

実 行 委 員 長	工 藤 清 行			
実 行 副 委 員 長	鶴 谷 直 樹	高 澤 彰	斎 藤 諒	
総 務 委 員 長	近 藤 将 造			
総 務 副 委 員 長	長 尾 由香子			
総 務 委 員	山 脇 啓 大	古 川 信 子	田 中 絵里子	中 嶋 憂 基
	坪 大 輔	吉 田 英 人	畑 中 健 一	松 村 明 昇
	竹 内 智 勇	馬 場 聡 全	沼 岡 基 晴	坂 本 尊
	竹 内 久美子	武 久 恭 亥	成 田 長 憲	竹 内 一 正
	漆 館 保	古 館 弘 崇	花 嶋 脩	澤 口 慧
	大 丸 伸 一	橋 本 操	藤 井 稔	萌 出 暁
	下 浅 翔	小 林 聖	塚 尾 聡 子	塚 尾 亜由美
	塚 尾 彩 香	沢 口 紗也佳	高 梨 七 海	林 拓 会
	蛭 名 葵	甲 地 真里江	土 橋 瑠 奈	野邊地 唯 華
	逸 見 勉			
競 技 委 員 長	藤 川 俊 彦			
競 技 副 委 員 長	笹 原 京四郎	花 田 朋 也		
試 合 場 主 任	阿 部 祐 仁	角 田 正 美		
審 判 委 員 主 任	青 山 和 申	後 藤 満 浩		
審 判 委 員	工 藤 友 嗣	下 柝棚 隆	蛭 名 亮 太	甲 田 夕 貴
選 手 委 員 主 任	杉 山 英 晴	木 明 裕 二		
選 手 委 員	石 文 広 幸	桑 野 匡 史	二 木 文 弥	井 筒 健 一
時 計 委 員 主 任	久 保 宏 昭	小 林 秀		
時 計 委 員	苔米地 太 郎	山 本 陽 介	逢 坂 颯	松 本 理 祐
入 力 掲 示 委 員 主 任	松 山 友 矩	須 藤 寛 子		
入 力 掲 示 委 員	戸 田 健 介	古 屋 敷 誉 将	南 玲	里 村 慧
放 送 委 員 主 任	松 嶋 幸 湖			
放 送 委 員	久保田 エリナ	倉 岡 真 理	塚 尾 莉花子	松 本 慶 祐
報 道 委 員 主 任	武 田 信 浩			
報 道 委 員	廣 谷 大 介	葛 西 健 悟		
計 量 用 具 委 員 主 任	工 藤 武 弥			
計 量 用 具 委 員	淡 路 満	柴 田 沙代子	高 松 亮 平	近 藤 瑛 美
	佐 伯 匡 哉	武 川 真 樹		
総 合 成 績 記 録 委 員 主 任	高 山 智 行			
総 合 成 績 記 録 委 員	岡 嵩 斗	吉 田 章 人	川 口 燿太郎	小笠原 大 地
	高 田 翔	吉 田 愛 理	吉 田 祐 也	

式典表彰委員主任

竹 島 孝 義

式 典 表 彰 委 員

武 久 公 哉

向谷地 史 拓

岩 本 正 顕

石 戸 大 樹

武 久 雄 哉

塚 尾 健 樹

塚 尾 祐 樹

塚 尾 凌 河

場内誘導委員主任

倉 田 利 章

場 内 誘 導 委 員

高 橋 七 海

山 崎 彬 熙

第80回国民スポーツ大会 剣道競技会

審判員

審判長 遠藤 正明 (東京)

第一試合場

主 任 古川 和男 (北海道)

1 組

┌	田中 久夫 (静岡)
├	高濱 一夫 (栃木)
└	濱田 英徳 (奈良)

2 組

┌	湯澤 寛 (秋田)
├	石田 洋二 (大阪)
└	山下 克久 (茨城)

3 組

┌	門野 政人 (東京)
├	森田 智裕 (埼玉)
└	竹中 健太郎 (鹿児島)

4 組

┌	竹内 司 (岡山)
├	織口 剛次 (神奈川)
└	中村 隆信 (愛知)

第二試合場

主 任 佐藤 桂生 (兵庫)

1 組

┌	坂田 秀晴 (山梨)
├	國友 秀三 (福岡)
└	鹿内 修 (青森)

2 組

┌	坂田 敏郎 (東京)
├	安達 慶一 (岩手)
└	米田 敏郎 (熊本)

3 組

┌	江藤 善久 (大阪)
├	馬場 功 (長崎)
└	中田 勝己 (群馬)

4 組

┌	榊 悌宏 (千葉)
├	佐藤 誠 (兵庫)
└	川崎 臣 (茨城)

※ 備 考 () 内は、登録の都道府県剣道連盟。

競 技 補 助 員

青森県立七戸高等学校

五所川原第一高等学校

八戸聖ウルスラ学院高等学校

八戸工業大学第一高等学校

ボ ラ ン テ ィ ア

青の煌めきあおもり国スポ七戸町ボランティア

競 技 会 係 員

青の煌めきあおもり国スポ七戸町実施本部

総 則

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

青森県で開催する第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」は「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに掲げ、スポーツによる感動や交流の輪が広がるとともに、本県のあらゆる魅力を発信するなど、県民総参加による青森県らしさあふれる大会を目指して開催する。

※次項「実施方針〈1 実施競技〉」以降の内容については、下記QRコードを読み取りください。

【実施要項総則】



〔26〕 剣道競技

1 期 日 2026 年 10 月 17 日（土）から 10 月 19 日（月）まで（3 日間）

種 別	10 月 17 日（土）	10 月 18 日（日）	10 月 19 日（月）
成年男子		1 回 戦 2 回 戦	2 回 戦 3 回戦・4 回戦 準 決 勝 戦 3 位決定戦・決勝戦
成年女子	1 回 戦	2 回 戦 準 決 勝 戦 3 位決定戦・決勝戦	
少年男子	1 回 戦 2 回 戦 準 決 勝 戦 3 位決定戦・決勝戦		
少年女子	1 回 戦 2 回 戦 準 決 勝 戦 3 位決定戦・決勝戦		

2 会 場 七戸町 七戸町総合アリーナ

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合 計（人）
成年男子	5		47	235	475
成年女子	3		16	48	
少年男子	1	5	16	96	
少年女子	1	5	16	96	

（注）成年男子及び成年女子の監督は、選手が兼ねる。

4 競技上の規程及び方法

（1）試合・審判規則及び審判員

ア 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則及び同細則による。

イ 審判員は、全日本剣道連盟において選出する。

（2）試合方法

トーナメント方式とし、3 位決定戦を行う。

5 予選方法

- （1）各都道府県連盟は、種別ごとに都道府県大会を実施し、本大会に出場する成年男子及び各ブロック大会に出場する代表選手を決定する。

- (2) 各ブロック大会の主管都道府県連盟は、本大会実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会に出場する代表チームを決定する。
- (3) 各ブロック大会の主管都道府県連盟は、各ブロック大会終了後、速やかにその大会の試合成績結果（参加チーム名も含む）を全日本剣道連盟に報告しなければならない。
- (4) ブロック大会区分及び各種別の代表チーム数は、下記のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年 女子	少年 男子	少年 女子
北海道	北海道	1	1	1
東 北	岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	2
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	3	3	3
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	1	1	1
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	1
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	2	2
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1	1	1
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	1
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	3	3	3
開催県	青森	1	1	1
計		16	16	16

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるもののほか、次による。

- (1) 成年男子の内容（次の 5 名をもって 1 チームとする。）

先鋒	2001 年 4 月 2 日以降～2008 年 4 月 1 日までに生まれた者	1 名
次鋒	1991 年 4 月 2 日以降～2001 年 4 月 1 日までに生まれた者	1 名
中堅	1981 年 4 月 2 日以降～1991 年 4 月 1 日までに生まれた者	1 名
副将	1971 年 4 月 2 日以降～1981 年 4 月 1 日までに生まれた者	1 名
大将	1971 年 4 月 1 日以前に生まれた者	1 名

- (2) 成年女子の内容（次の 3 名をもって 1 チームとする。）

先鋒	1996 年 4 月 2 日以降～2008 年 4 月 1 日までに生まれた者	1 名
中堅	1986 年 4 月 2 日以降～1996 年 4 月 1 日までに生まれた者	1 名
大将	1986 年 4 月 1 日以前に生まれた者	1 名

- (3) 少年男子及び少年女子の内容

選手は、5 名をもって 1 チームとし、2008 年 4 月 2 日以降に生まれた者とする。ただし、中学生以下の参加は認めない。

- (4) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認剣道コーチ 1、公認剣道コーチ 2 のいずれかの資格を有する者。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	成年女子に1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位（4チーム）各7.5点、成年女子以外の各種別に1位40点、2位35点、3位30点、4位25点、5位（4チーム）各12.5点の競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別の第1位から第5位（4チーム）までに、賞状を授与する。

9 参加申込方法

総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2026年9月3日（木）午後5時までに申込手を完了すること。
- (2) 締切期限以降は、所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込締切後の選手の変更は、疾病、傷病等特別な場合にのみ認めるものとし、その取扱いについては次のとおりとする。

ア 提出期限 2026年10月16日（金）の監督会議まで

イ 提出先

- (ア) 〒102-0074 東京都千代田区九段南二丁目3番14号 靖国九段南ビル2階
公益財団法人全日本剣道連盟 九段事務所
TEL 03-3234-6271 FAX 03-3234-6007
- (イ) 〒030-8570 青森県青森市長島一丁目1番1号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局
（青森県国スポ・障スポ局 競技式典課 競技運営グループ）
TEL 017-734-9771 FAX 017-734-8015
E-mail aomori2026kyougiune@pref.aomori.lg.jp
- (ウ) 〒039-2592 青森県上北郡七戸町字七戸31番地2
青の煌めきあおもり国スポ七戸町実行委員会事務局
（七戸町教育委員会 国民スポーツ大会推進室）
TEL 0176-58-6318 FAX 0176-62-6256
E-mail 2026kokusupo01@town.shichinohe.lg.jp

なお、(イ)(ウ)については原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続により参加申込情報を修正すること。

10 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2026 年 9 月 7 日 (月) 午後 4 時
場 所 公益財団法人全日本剣道連盟 九段事務所
〒102-0074 東京都千代田区九段南二丁目 3 番 14 号 靖国九段南ビル 2 階
TEL 03-3234-6271 FAX 03-3234-6007

(2) 審判会議

日 時 2026 年 10 月 16 日 (金) 午後 4 時
場 所 七戸町総合アリーナ
〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67 番地 170
TEL 0176-62-2051 FAX 0176-62-2401

(3) 監督会議

日 時 2026 年 10 月 16 日 (金) 午後 4 時
場 所 七戸町総合アリーナ
〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67 番地 170
TEL 0176-62-2051 FAX 0176-62-2401

(4) 表彰式

(少年男子及び少年女子)

日 時 2026 年 10 月 17 日 (土) 午後 4 時 35 分
場 所 七戸町総合アリーナ
〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67 番地 170
TEL 0176-62-2051 FAX 0176-62-2401

(成年女子及び女子総合)

日 時 2026 年 10 月 18 日 (日) 午前 10 時 45 分
場 所 七戸町総合アリーナ
〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67 番地 170
TEL 0176-62-2051 FAX 0176-62-2401

(成年男子及び男女総合)

日 時 2026 年 10 月 19 日 (月) 午後 2 時 25 分
場 所 七戸町総合アリーナ
〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67 番地 170
TEL 0176-62-2051 FAX 0176-62-2401

式典次第

開始式

日 時：令和8年10月17日（土） 9時00分 会 場：七戸町総合アリーナ

順序	次 第	時刻
1	開式通告（放送係）	9：00
2	開会宣言（放送係）	9：01
3	国歌斉唱	9：02
4	大会会長トロフィー返還	9：04
5	競技会会長あいさつ	9：06
6	歓迎のことば	9：10
7	閉式通告（放送係）	9：14

少年男子・少年女子表彰式

日 時：令和8年10月17日（土） 16時35分 会 場：七戸町総合アリーナ

順序	次 第	時刻
1	選手・監督集合	16：30
2	開式通告（放送係）	16：35
3	成績発表及び賞状授与	16：36
4	閉式通告（放送係）	16：46
5	選手解散	16：47

成年女子・女子総合表彰式

日 時：令和8年10月18日（日） 10時45分 会 場：七戸町総合アリーナ

順序	次 第	時刻
1	選手・監督集合	10：40
2	開式通告（放送係）	10：45
3	成績発表及び賞状授与	10：46
4	閉式通告（放送係）	10：59
5	選手解散	11：00

成年男子・男女総合表彰式

日 時：令和8年10月19日（月） 14時25分 会 場：七戸町総合アリーナ

順序	次 第	時刻
1	選手・監督集合	14：20
2	開式通告（放送係）	14：25
3	成績発表及び賞状授与 大会会長トロフィー授与	14：26
4	閉式通告（放送係）	14：39
5	閉会宣言（放送係）	14：40
6	選手・役員解散	14：41



〔26〕 剣道競技

七戸町

競技日程

10月16日（金）

諸 会 議 日 程

会 議 名	審判会議・監督会議・審判研修会
時 間	16：00～18：00
会 場	七戸町総合アリーナ
所 在 地	青森県上北郡七戸町字荒熊内67番地170
電 話 番 号	0176-62-2051
F A X	0176-62-2401

10月17日（土）

会場：七戸町総合アリーナ

開始式	9:00～9:15
-----	-----------

第 1 試合場			第 2 試合場		
少年女子	1 回戦	4 試合 9：35～11：15	少年女子	1 回戦	4 試合 9：35～11：15
少年女子	2 回戦	2 試合 11：15～12：05	少年女子	2 回戦	2 試合 11：15～12：05
少年男子	1 回戦	4 試合 12：05～13：45	少年男子	1 回戦	4 試合 12：05～13：45
少年男子	2 回戦	2 試合 13：45～14：35	少年男子	2 回戦	2 試合 13：45～14：35
少年男女	準決勝戦	2 試合 14：35～15：25	少年男女	準決勝戦	2 試合 14：35～15：25
少年男女	決勝戦	2 試合 15：35～16：25	少年男女	3 位決定戦	2 試合 15：35～16：25

表 彰 式	（少年男子及び少年女子）	16：35～16：50
-------	--------------	-------------

第 1 試合場			第 2 試合場		
成年女子	1 回戦	4 試合 17：00～18：20	成年女子	1 回戦	4 試合 17：00～18：20

10月18日（日）

第1試合場			第2試合場		
成年女子	2回戦	2試合 9：05～9：45	成年女子	2回戦	2試合 9：05～9：45
成年女子	準決勝戦	1試合 9：45～10：05	成年女子	準決勝戦	1試合 9：45～10：05
成年女子	決勝戦	1試合 10：15～10：35	成年女子	3位決定戦	1試合 10：15～10：35

表 彰 式	(成年女子及び女子総合)	10：45～11：00
-------	--------------	-------------

第1試合場			第2試合場		
成年男子	1回戦	7試合 11：10～15：10	成年男子	1回戦	8試合 11：10～15：10
成年男子	2回戦	6試合 15：10～18：10	成年男子	2回戦	6試合 15：10～18：10

10月19日（月）

第1試合場			第2試合場		
成年男子	2回戦	2試合 9：05～10：05	成年男子	2回戦	2試合 9：05～10：05
成年男子	3回戦	4試合 10：05～12：05	成年男子	3回戦	4試合 10：05～12：05
成年男子	4回戦	2試合 12：05～13：05	成年男子	4回戦	2試合 12：05～13：05
成年男子	準決勝戦	1試合 13：05～13：35	成年男子	準決勝戦	1試合 13：05～13：35
成年男子	決勝戦	1試合 13：45～14：15	成年男子	3位決定戦	1試合 13：45～14：15

表 彰 式	(成年男子及び男女総合)	14：25～14：45
-------	--------------	-------------

試合タイムテーブル

第 1 日 10月17日（土）	時間	第 1 試合場		第 2 試合場	
	9:35 ～ 10:00	少年女子 1 回戦	1	少年女子 1 回戦	5
	10:00 ～ 10:25		2		6
	10:25 ～ 10:50		3		7
	10:50 ～ 11:15		4		8
	11:15 ～ 11:40	少年女子 2 回戦	9	少年女子 2 回戦	11
	11:40 ～ 12:05		10		12
	12:05 ～ 12:30	少年男子 1 回戦	1	少年男子 1 回戦	5
	12:30 ～ 12:55		2		6
	12:55 ～ 13:20		3		7
	13:20 ～ 13:45		4		8
	13:45 ～ 14:10	少年男子 2 回戦	9	少年男子 2 回戦	11
	14:10 ～ 14:35		10		12
	14:35 ～ 15:00	少年女子準決勝戦	13	少年女子準決勝戦	14
	15:00 ～ 15:25	少年男子準決勝戦	13	少年男子準決勝戦	14
	15:35 ～ 16:00	少年女子決勝戦	16	少年女子 3 位決定戦	15
	16:00 ～ 16:25	少年男子決勝戦	16	少年男子 3 位決定戦	15
	16:35 ～ 16:50	表彰式（少年男子及び少年女子）			
	17:00 ～ 17:20	成年女子 1 回戦	1	成年女子 1 回戦	5
	17:20 ～ 17:40		2		6
	17:40 ～ 18:00		3		7
	18:00 ～ 18:20		4		8

第 2 日 10月18日（日）	時間	第 1 試合場		第 2 試合場	
	9:05 ～ 9:25	成年女子 2 回戦	9	成年女子 2 回戦	11
	9:25 ～ 9:45		10		12
	9:45 ～ 10:05	成年女子準決勝戦	13	成年女子準決勝戦	14
	10:15 ～ 10:35	成年女子決勝戦	16	成年女子 3 位決定戦	15
	10:45 ～ 11:00	表彰式（成年女子及び女子総合）			
	11:10 ～ 11:40	成年男子 1 回戦	1	成年男子 1 回戦	8
	11:40 ～ 12:10		2		9
	12:10 ～ 12:40		3		10
	12:40 ～ 13:10		4		11
	13:10 ～ 13:40		5		12
	13:40 ～ 14:10		6		13
	14:10 ～ 14:40		7		14
	14:40 ～ 15:10				15
	15:10 ～ 15:40	成年男子 2 回戦	16	成年男子 2 回戦	24
	15:40 ～ 16:10		17		25
	16:10 ～ 16:40		18		26
	16:40 ～ 17:10		19		27
	17:10 ～ 17:40		20		28
	17:40 ～ 18:10		21		29

第 3 日 10月19日（月）	時間	第 1 試合場		第 2 試合場	
	9:05 ～ 9:35	成年男子 2 回戦	22	成年男子 2 回戦	30
	9:35 ～ 10:05		23		31
	10:05 ～ 10:35	成年男子 3 回戦	32	成年男子 3 回戦	36
	10:35 ～ 11:05		33		37
	11:05 ～ 11:35		34		38
	11:35 ～ 12:05		35		39
	12:05 ～ 12:35	成年男子 4 回戦	40	成年男子 4 回戦	42
	12:35 ～ 13:05		41		43
	13:05 ～ 13:35	成年男子準決勝戦	44	成年男子準決勝戦	45
	13:45 ～ 14:15	成年男子決勝戦	47	成年男子 3 位決定戦	46
	14:25 ～ 14:45	表彰式（成年男子及び男女総合）			

【少年女子】

会場：七戸町総合アリーナ

都道府県名		10月17日（土）			
		1 回戦	2 回戦	準決勝戦	決勝戦
第 1 試合場					
熊 本	1	9:35 1	11:15 9	14:35 13	第 1 試合場 15:35 16
山 形	2				
静 岡	3	10:00 2	11:40 10	14:35 13	
茨 城	4				
千 葉	5	10:25 3	11:40 10	14:35 13	
福 岡	6				
京 都	7	10:50 4	11:40 10	14:35 13	
北 海 道	8				
第 2 試合場					
青 森	9	9:35 5	11:15 11	14:35 14	第 2 試合場 3 位決定戦 15:35
群 馬	10				
長 崎	11	10:00 6	11:40 12	14:35 14	
石 川	12				
徳 島	13	10:25 7	11:40 12	14:35 14	
福 島	14				
岡 山	15	10:50 8	11:40 12	14:35 14	
滋 賀	16				

【少年男子】

会場：七戸町総合アリーナ

都道府県名		10月17日（土）			
		1 回戦	2 回戦	準決勝戦	決勝戦
第 1 試合場					
福岡	1	12:05	1		
茨城	2				
奈良	3	12:30	2		
青森	4				
栃木	5	12:55	3		
福島	6				
熊本	7	13:20	4		
静岡	8				
					13:45
					9
					13:45
					10
					15:00
					13
					15:00
					16
					16:00
第 2 試合場					
島根	9	12:05	5		
兵庫	10				
秋田	11	12:30	6		
富山	12				
北海道	13	12:55	7		
香川	14				
東京	15	13:20	8		
佐賀	16				
					13:45
					11
					13:45
					12
					15:00
					14
					15:00
					15
					16:00

【成年女子】

会場：七戸町総合アリーナ

都道府県名	10月17日（土）		10月18日（日）			
	1 回戦		2 回戦	準決勝戦	決勝戦	
第 1 試合場						
岡 山 1	17:00 1	9:05 9	9:45 13	第 1 試合場 10:15 16		
熊 本 2						
北 海 道 3	17:20 2	9:25 10	9:45 14			
石 川 4						
埼 玉 5	17:40 3	9:25 11	9:45 15			
青 森 6						
大 阪 7	18:00 4	9:25 12	9:45 16			
福 岡 8						
第 2 試合場						
愛 知 9	17:00 5	9:05 11	9:45 14	第 2 試合場 3 位決定戦 10:15		
山 梨 10						
山 形 11	17:20 6	9:05 12	9:45 15			
愛 媛 12						
福 島 13	17:40 7	9:25 13	9:45 16			
宮 崎 14						
京 都 15	18:00 8	9:25 14	9:45 17			
神 奈 川 16						

【成年男子】

第1 試合場						
都道府県名	10月18日（日）		10月19日（月）			
	1 回戦	2 回戦	3 回戦	4 回戦	準決勝戦	決勝戦
滋 賀 1	15:10 16					
佐 賀 2						
愛 媛 3	11:10 1	15:40 17	10:05 32			
千 葉 4						
岡 山 5	16:10 18					
愛 知 6						
富 山 7	11:40 2	16:40 19	10:35 33			
鹿児島 8						
北海道 9	12:10 3		17:10 20			
京 都 10						
埼 玉 11	17:40 21					
山 口 12						
栃 木 13	12:40 4	17:40 21	11:05 34			
熊 本 14						
岐 阜 15	13:10 5		9:35 23			
和歌山 16						
宮 城 17	9:05 22					
福 島 18						
茨 城 19	13:40 6	11:35 35				
新 潟 20						
徳 島 21	14:10 7					
鳥 取 22						
福 岡 23						

会場：七戸町総合アリーナ

[illegible]

剣道競技の見方

剣道について基本的な考え方

剣道は長い歴史の中で受け継がれて育てられてきた伝統ある武道である。

剣道の精神は、「武士の日常心がけるべき法」として受け継がれてきたが、今も「己を生かし、人を生かす」ための心身の鍛錬の基本として、現代人の心の中に培われている。

全日本剣道連盟は、剣道の理念を「剣の理法の修錬による人間形成の道である。」と定義し、伝統的武道精神の根源にかかわるものとして表明したが、これは今日の社会情勢の中にあっても強く要請される場所である。

剣道試合の概要

剣道具をつけた二人の試合者が、定められた広さの試合場内で相対して、長さや重さの定められた「竹刀」を用いて、面、小手、胴の各部を打ち、また、突き部（のど部）を突くことによって勝敗を競う競技である。

国スポの出場チームと選手構成

剣道競技は、第52回大会（平成9年大阪）より、成年男子と、それまでの成年2部に代わる成年女子、および少年男子、少年女子の4種別で実施されることになった。

成年男子は、47都道府県全部が出場する。選手編成は、先鋒が18歳以上25歳未満、次鋒が25歳以上35歳未満、中堅が35歳以上45歳未満、副将が45歳以上55歳未満、大將が55歳以上の5名である。

成年女子は、各ブロック予選を勝ち抜いてきた16の都道府県で行われる。先鋒が18歳以上30歳未満、中堅が30歳以上40歳未満、大將が40歳以上の3名である。

少年男子および少年女子は、それぞれ各ブロック予選を勝ち抜いてきた16の都道府県が出場する。選手編成は、男女とも15歳以上18歳までの5名である。

試合場

一辺が9メートルないし11メートルの正方形または長方形とする。

試合時間

国スポでは、成年男子および成年女子は5分間、少年男子および少年女子は4分間とし、この時間内に勝負が決まらなかった場合、引き分けとする。

有効打突

充実した氣勢、適正な姿勢をもって、竹刀の物打を中心とした刃部（打突部）で、面部、小手部、胴部、突部の打突部位を刃筋正しく打突し、残心あるものを有効打突とする。

有効打突の決定

2名以上の審判員が有効打突の表示として旗をあげたとき、または1名が有効打突の表示をし、他の審判員が棄権の表示として両旗を前下で交差させ停止したとき。

試合の勝敗

3本勝負が原則で、試合時間内に2本先取した者が勝ちになる。ただし、一方が1本先取し、そのまま試合時間が終了した場合、この者を勝ちとする。試合時間内に勝敗が決まらなかった場合は引き分けとする。

チームの勝敗は、勝者数が多いチームが勝ちとなり、勝者数が同数の場合は、取得本数が多いチームが勝ちとなる。勝者数、取得本数が同数の場合は、代表者戦（1本勝負）により勝敗を決定する。

禁止行為

次の行為を犯した試合者は負けとなる。

1. 薬物を使用もしくは所持し、または禁止方法を実施すること。
2. 審判員または相手に対し、非礼な言動をすること。
3. 定められた以外の用具（不正用具）を使用する。

次の行為をした場合は反則となる。反則を2回犯すと相手に1本が与えられる。

1. 相手に足を掛けまたは払う。
2. 相手を不当に場外に出す。
3. 試合中に場外に出る。場外は次のとおりである。
 - (1) 片足が、完全に境界線外に出た場合。
 - (2) 倒れたときに、身体の一部が境界線外に出た場合。
 - (3) 境界線外において、身体の一部または竹刀で身体を支えた場合。
4. 自己の竹刀を落とす。
5. 不当な中止要請をする。
6. その他、剣道試合・審判規則に反する次の行為などをする。
 - (1) 相手に手を掛けまたは抱えこむ。
 - (2) 相手の竹刀を握るまたは自分の竹刀の刃部を握る。
 - (3) 相手の竹刀を抱える。
 - (4) 相手の肩に故意に竹刀をかける。
 - (5) 倒れたとき、相手の攻撃に対応することなく、うつ伏せなどになる。
 - (6) 故意に時間の空費をする。
 - (7) 不当なつば（顰）競り合いおよび打突をする。

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

都道府県別参加人員一覧表

都道府県別	成 年		少 年			合 計	都道府県別	成 年		少 年			合 計
	男 子	女 子	監 督	男 子	女 子			男 子	女 子	監 督	男 子	女 子	
北 海 道	5	3	2	5	5	20	滋 賀 県	5		1		5	11
青 森 県	5	3	2	5	5	20	京 都 府	5	3	1		5	14
岩 手 県	5					5	大 阪 府	5	3				8
宮 城 県	5					5	兵 庫 県	5		1	5		11
秋 田 県	5		1	5		11	奈 良 県	5		1	5		11
山 形 県	5	3	1		5	14	和 歌 山 県	5					5
福 島 県	5	3	2	5	5	20	鳥 取 県	5					5
茨 城 県	5		2	5	5	17	島 根 県	5		1	5		11
栃 木 県	5		1	5		11	岡 山 県	5	3	1		5	14
群 馬 県	5		1		5	11	広 島 県	5					5
埼 玉 県	5	3				8	山 口 県	5					5
千 葉 県	5		1		5	11	香 川 県	5		1	5		11
東 京 都	5		1	5		11	徳 島 県	5		1		5	11
神 奈 川 県	5	3				8	愛 媛 県	5	3				8
山 梨 県	5	3				8	高 知 県	5					5
新 潟 県	5					5	福 岡 県	5	3	2	5	5	20
長 野 県	5					5	佐 賀 県	5		1	5		11
富 山 県	5		1	5		11	長 崎 県	5		1		5	11
石 川 県	5	3	1		5	14	熊 本 県	5	3	2	5	5	20
福 井 県	5					5	大 分 県	5					5
静 岡 県	5		2	5	5	17	宮 崎 県	5	3				8
愛 知 県	5	3				8	鹿 児 島 県	5					5
三 重 県	5					5	沖 縄 県	5					5
岐 阜 県	5					5	合 計	235	48	32	80	80	475

参加監督・選手名

【少年女子】

都道府県名	監督名	選手名	段 位	生 年 月 日	学 校 名
北 海 道	相 田 学	若 生 真 桜	三 段	平 成 20 5 15	東海大学付属札幌高等学校
		五十嵐 琴 子	二 段	平 成 22 3 20	札幌日本大学高等学校
		及 川 柚 希	三 段	平 成 20 12 31	札幌日本大学高等学校
		植 根 佑 妃	三 段	平 成 21 10 20	北海道栄高等学校
		小田島 蒼 来	三 段	平 成 20 4 11	札幌日本大学高等学校
青 森 県	伊 藤 敏 哉	木 下 裕 愛	二 段	平 成 21 4 23	東奥義塾高等学校
		佐 藤 美 空	二 段	平 成 21 10 30	東奥義塾高等学校
		橋 本 華	二 段	平 成 21 11 6	東奥義塾高等学校
		松名瀬 天 絆	三 段	平 成 20 5 9	東奥義塾高等学校
		宇佐美 華 凜	二 段	平 成 21 12 30	東奥義塾高等学校
山 形 県	貝 田 裕 昭	佐 藤 羽 華	三 段	平 成 21 3 6	東北文教大学山形城北高等学校
		池 田 藍	三 段	平 成 20 4 28	山形県立左沢高等学校
		猿 山 桃 花	二 段	平 成 20 4 14	山形県立左沢高等学校
		赤野間 千 穂	二 段	平 成 20 9 17	山形県立左沢高等学校
		山 田 芽 依	二 段	平 成 20 8 2	山形県立左沢高等学校
福 島 県	安 藤 英 貴	船 木 一 華	三 段	平 成 20 4 18	福島県立白河高等学校
		長谷川 結 月	二 段	平 成 21 3 15	福島県立白河高等学校
		中 根 美 幸	三 段	平 成 21 4 17	福島県立磐城桜が丘高等学校
		加 藤 穂乃里	二 段	平 成 21 11 16	福島県立白河高等学校
		泉 山 奈津希	三 段	平 成 20 7 26	福島県立白河高等学校
茨 城 県	安 田 拓 朗	伊 東 茉 瑚	二 段	平 成 20 8 2	茨城県立守谷高等学校
		小 林 愛 依	二 段	平 成 20 10 2	茨城県立守谷高等学校
		竹 内 さくら	三 段	平 成 20 4 3	茗溪学園高等学校
		櫻 井 菜 成	二 段	平 成 21 3 30	茨城県立守谷高等学校
		吉 村 絆 那	二 段	平 成 21 2 1	茨城県立守谷高等学校
群 馬 県	吉 川 新	貝 山 紗 彩	二 段	平 成 21 8 11	高崎健康福祉大学高崎高等学校
		村 上 千 祥	二 段	平 成 21 5 17	高崎健康福祉大学高崎高等学校
		永 井 心 寧	二 段	平 成 20 10 22	共愛学園高等学校
		高 橋 愛	二 段	平 成 20 6 12	共愛学園高等学校
		後 藤 菜 月	二 段	平 成 20 12 4	共愛学園高等学校
千 葉 県	坂 本 卓 也	松 崎 音 和	二 段	平 成 22 2 11	翔凜高等学校
		越 川 心 美	二 段	平 成 21 10 5	翔凜高等学校
		小 川 彩 良	二 段	平 成 20 7 24	翔凜高等学校
		野 口 莉 歩	三 段	平 成 21 4 16	東海大学付属浦安高等学校
		川 村 悠 花	三 段	平 成 20 9 16	東海大学付属浦安高等学校
石 川 県	藤 田 安 晃	今 村 彩 葉	二 段	平 成 21 4 29	金沢高等学校
		尾 蔵 花	三 段	平 成 20 4 20	金沢高等学校
		桜 木 佑 圭	初 段	平 成 21 7 5	日本航空高等学校石川
		中 川 佳 穂	三 段	平 成 20 9 30	金沢学院大学附属高等学校
		中 農 陽	二 段	平 成 20 8 21	金沢高等学校

参加監督・選手名

【少年女子】

都道府県名	監督名	選手名	段 位	生 年 月 日	学 校 名
静岡県	内 田 勝 之	大 庭 海 空	二 段	平 成 20 5 30	県立磐田西高等学校
		松 下 心 咲	二 段	平 成 20 7 29	東海大学付属静岡翔洋高等学校
		内 田 いちの	二 段	平 成 22 8 21	磐田東高等学校
		内 田 こころ	三 段	平 成 20 10 14	磐田東高等学校
		森 澤 茉 琳	二 段	平 成 21 3 16	東海大学付属静岡翔洋高等学校
滋 賀 県	乙 須 一 心	鈴 木 絵美莉	二 段	平 成 21 12 4	滋賀県立草津東高等学校
		紅 谷 紫 音	三 段	平 成 21 5 29	比叡山高等学校
		小 林 未 愛	三 段	平 成 20 6 1	滋賀県立草津東高等学校
		山 田 咲 希	三 段	平 成 20 10 12	比叡山高等学校
		田 中 夢 真	三 段	平 成 21 3 5	滋賀県立草津東高等学校
京 都 府	藤 本 美	松 尾 美 空	二 段	平 成 21 11 26	京都府立久御山高等学校
		日 下 愛 理	三 段	平 成 21 10 9	京都府立久御山高等学校
		松 尾 美 海	二 段	平 成 21 11 26	京都府立久御山高等学校
		川 北 千咲輝	三 段	平 成 21 2 15	京都市立日吉ヶ丘高等学校
		田 村 菜穂子	三 段	平 成 21 3 19	京都市立日吉ヶ丘高等学校
岡 山 県	内 海 翔 太	北 本 花 帆	三 段	平 成 21 3 28	岡山県立玉島高等学校
		金 子 未 宙	二 段	平 成 22 12 20	岡山県立西大寺高等学校
		明 石 梨央奈	二 段	平 成 22 5 24	岡山商科大学附属高等学校
		佐 賀 雫	二 段	平 成 21 5 25	岡山県立西大寺高等学校
		吉 岡 千 夏	三 段	平 成 20 7 14	岡山県立倉敷商業高等学校
徳 島 県	北 村 環	茨 木 里 音	二 段	平 成 22 1 31	富岡東高等学校
		前 田 優 莉	三 段	平 成 20 4 14	川島高等学校
		梶 岡 円 花	三 段	平 成 20 4 17	富岡東高等学校
		米 倉 真 央	三 段	平 成 20 8 31	徳島文理高等学校
		伊 藤 寛 夏	三 段	平 成 20 7 7	富岡東高等学校
福 岡 県	岩 城 規 彦	金 松 莓 子	三 段	平 成 20 5 29	福岡市立福翔高等学校
		中 家 妃泉七	三 段	平 成 20 5 27	中村学園高等学校
		木 原 愛由花	二 段	平 成 21 8 8	中村学園高等学校
		横 尾 な み	二 段	平 成 21 12 4	福岡第一高等学校
		牛 嶋 柚 希	三 段	平 成 20 4 15	中村学園高等学校
長 崎 県	宮 崎 東 平	北 山 煌 華	二 段	平 成 23 2 22	長崎県立島原高等学校
		勝 又 美璃風	二 段	平 成 20 10 12	長崎県立島原高等学校
		久 保 凛々果	三 段	平 成 20 4 18	長崎県立長崎東高等学校
		北 山 愛 華	二 段	平 成 23 2 22	長崎県立島原高等学校
		宮 崎 結	三 段	平 成 20 10 5	長崎県立長崎東高等学校
熊 本 県	豊 田 瑞 樹	梶 原 彩 矢	三 段	平 成 20 5 13	八代白百合学園高等学校
		緒 方 月 詞	三 段	平 成 20 7 7	八代白百合学園高等学校
		武 田 絢 葉	三 段	平 成 21 5 24	八代白百合学園高等学校
		石 河 日 月	三 段	平 成 21 3 5	八代白百合学園高等学校
		檜 橋 美 絢	三 段	平 成 21 4 22	八代白百合学園高等学校

参加監督・選手名

【少年男子】

都道府県名	監督名	選手名	段位	生年月日	学校名
北海道	久保田 尚也	及川 史翔	三段	平成 20 5 7	東海大学付属札幌高等学校
		杉浦 光人	三段	平成 21 1 3	札幌第一高等学校
		原 英翔	三段	平成 20 4 21	札幌第一高等学校
		藤田 一真	三段	平成 20 9 30	札幌日本大学高等学校
		斎藤 遼太郎	三段	平成 20 6 10	東海大学付属札幌高等学校
青森県	越 善 一 臣	成田 龍飛	三段	平成 21 3 27	五所川原第一高等学校
		廣谷 泉 路	二段	平成 22 3 16	東奥義塾高等学校
		阪田 蓮	三段	平成 20 10 12	五所川原第一高等学校
		三澤 諒大	三段	平成 21 10 4	青森県立青森西高等学校
		高間 慎平	三段	平成 20 9 12	五所川原第一高等学校
秋田県	杉 山 喜 幸	佐東 レオン	三段	平成 20 8 3	ノースアジア大学明桜高等学校
		宮島 蒼太	三段	平成 20 8 27	ノースアジア大学明桜高等学校
		長谷川 士貴	三段	平成 20 10 29	秋田市立秋田商業高等学校
		三浦 歩	三段	平成 20 6 12	秋田市立秋田商業高等学校
		小野 翔	三段	平成 20 8 14	秋田市立秋田商業高等学校
福島県	三 田 大 輔	伊 関 錦	三段	平成 20 10 26	福島県立会津工業高等学校
		武田 宝冠	三段	平成 21 4 30	学校法人聖光学院聖光学院高等学校
		工藤 煌大	三段	平成 21 11 24	学校法人聖光学院聖光学院高等学校
		本田 虎之介	三段	平成 21 6 18	福島県立福島高等学校
		齋藤 正真	三段	平成 21 4 8	学校法人聖光学院聖光学院高等学校
茨城県	田 口 健 一	多田 理人	二段	平成 20 8 5	土浦日本大学高等学校
		松本 尊琉	三段	平成 20 9 5	土浦日本大学高等学校
		梅村 峻	三段	平成 21 3 29	茨城県立取手第一高等学校
		阿部 峻平	三段	平成 21 6 18	茗溪学園高等学校
		瀧山 隼斗	三段	平成 21 2 4	水戸葵陵高等学校
栃木県	大 関 利 治	田中 翔	三段	平成 20 4 25	佐野日本大学高等学校
		高村 憲太郎	三段	平成 20 5 19	佐野日本大学高等学校
		大山 和寿	二段	平成 21 7 22	佐野日本大学高等学校
		川崎 泰知	三段	平成 20 4 5	佐野日本大学高等学校
		大河原 靖太	三段	平成 20 7 28	佐野日本大学高等学校
東京都	天 野 康 寿	阿部 勇二郎	二段	平成 20 6 4	正則学園高等学校
		権瓶 泰毅	三段	平成 21 8 8	国士館高等学校
		松下 凌久	三段	平成 20 4 22	足立学園高等学校
		加藤 真人	三段	平成 20 11 21	明治大学附属中野高等学校
		谷口 蓮太郎	三段	平成 20 9 8	郁文館高等学校
富山県	菊 池 和 史	倉川 嵩清	三段	平成 20 10 12	富山北部高等学校
		山口 空生斗	三段	平成 21 8 15	龍谷富山高等学校
		寺前 繁寿	三段	平成 20 10 15	富山北部高等学校
		八重崎 蓮斗	三段	平成 20 7 13	富山北部高等学校
		佐藤 太陽	三段	平成 20 9 29	富山北部高等学校

参加監督・選手名

【少年男子】

都道府県名	監督名	選手名	段位	生年月日	学校名
静岡県	菊池竜平	松原辰武	二段	平成21 3 4	県立磐田西高等学校
		松山隼	二段	平成21 1 12	東海大学付属静岡翔洋高等学校
		野田龍之介	三段	平成20 11 25	県立浜名高等学校
		山本悠生	三段	平成20 5 4	県立浜名高等学校
		富樫遵乃介	三段	平成20 8 20	磐田東高等学校
兵庫県	浦一樹	山内和磨	三段	平成20 12 25	育英高等学校
		高島燿季	二段	平成21 4 10	育英高等学校
		菅倫太朗	二段	平成20 10 13	育英高等学校
		神澤恵佑	二段	平成21 3 15	育英高等学校
		和泉心大	三段	平成20 8 2	育英高等学校
奈良県	米澤道誠	新垣匠司	三段	平成20 5 7	奈良大学附属高等学校
		岡野陽太	三段	平成21 8 3	奈良県立郡山高等学校
		松尾一翔	三段	平成21 7 12	奈良大学附属高等学校
		社頭奏	三段	平成20 6 17	奈良大学附属高等学校
		木村瑠汰	三段	平成20 7 26	奈良大学附属高等学校
島根県	石原健一	森脇大地	三段	平成20 4 5	島根県立大社高等学校
		高野瑞希	三段	平成21 9 25	島根県立大社高等学校
		塚本耕羽	二段	平成20 9 13	島根県立大社高等学校
		渡部魁斗	三段	平成20 7 14	島根県立大社高等学校
		諏訪颯司	三段	平成21 6 15	島根県立大社高等学校
香川県	山下渉	古川東緒也	三段	平成21 9 15	県立琴平高等学校
		田口太陽	三段	平成21 4 4	星槎国際高等学校香川
		楠瀬皓大	三段	平成20 4 17	高松中央高等学校
		小塚聖由	三段	平成20 9 19	県立琴平高等学校
		松村大樹	三段	平成20 4 5	星槎国際高等学校香川
福岡県	儀武純一	梶谷大和	二段	平成20 10 12	福岡第一高等学校
		北原遙人	三段	平成20 9 29	東福岡高等学校
		森大耀	三段	平成21 2 10	福岡大学附属大濠高等学校
		新井魁成	二段	平成20 10 28	福岡第一高等学校
		橋本大治	三段	平成20 4 13	東福岡高等学校
佐賀県	吉村剛	須藤碧	三段	平成20 5 24	敬徳高等学校
		茂田虎ノ介	二段	平成22 2 6	三養基高等学校
		井崎海里	三段	平成20 5 18	敬徳高等学校
		陣ノ内康晴	三段	平成20 8 7	三養基高等学校
		笹川大成	三段	平成20 7 5	敬徳高等学校
熊本県	芹川勝也	元井颯汰	三段	平成21 6 2	九州学院高等学校
		辻本耀清	三段	平成21 6 5	九州学院高等学校
		落合瞳真	三段	平成21 7 3	九州学院高等学校
		藏座亜月	二段	平成20 9 16	東海大学付属熊本星翔高等学校
		石橋智紀	三段	平成20 4 10	九州学院高等学校

参加監督・選手名

【成年女子】

都道府県名	監督名	選手名	段 位	生 年 月 日	所 属
北 海 道	野 村 友 美	関 川 絢 心	四 段	平 成 13 4 30	北海道警察
		實 金 由里香	六 段	平 成 3 2 13	北海道警察
		野 村 友 美	七 段	昭 和 53 12 6	紫明女子学院（職）
青 森 県	太 田 祐 子	淡 路 咲 来	三 段	平 成 19 8 31	筑波大学
		倉 本 みずき	五 段	平 成 4 2 8	青森県立青森第二養護学校(教)
		太 田 祐 子	七 段	昭 和 43 3 28	青森介護サービス
山 形 県	長 岡 陽 子	鹿 野 久 深	三 段	平 成 16 12 15	国土館大学
		工 藤 礼 佳	六 段	平 成 5 5 31	株式会社カーサービス山形
		長 岡 陽 子	七 段	昭 和 60 7 26	山形県立山形東高等学校(教)
福 島 県	吉 田 美 弥	五十嵐 和 奏	三 段	平 成 17 8 14	筑波大学
		松 木 雅 子	三 段	平 成 7 10 17	福島刑務所
		吉 田 美 弥	六 段	昭 和 59 11 8	福島県剣道連盟
埼 玉 県	村 山 千 夏	小 川 梨々香	五 段	平 成 11 5 29	伊田テクノス株式会社
		志 藤 綾 子	六 段	平 成 5 1 11	伊田テクノス株式会社
		村 山 千 夏	七 段	昭 和 49 8 20	埼玉県警察
神 奈 川 県	高 須 美 幸	松 本 智 香	六 段	平 成 8 8 31	神奈川県警察
		高 橋 萌 子	六 段	平 成 5 11 29	神奈川県警察
		高 須 美 幸	六 段	昭 和 59 3 17	瀬谷ふたつ橋病院
山 梨 県	平 塚 恭 子	安 達 小 粋	五 段	平 成 12 2 3	山梨県警察
		光 石 眞 紀	六 段	平 成 7 2 4	山梨県立青洲高等学校（教）
		平 塚 恭 子	七 段	昭 和 53 3 28	甲府市立甲府商業高等学校（教）
石 川 県	齋 藤 涼 香	横 山 雅	三 段	平 成 16 12 13	順天堂大学
		西 田 有	四 段	平 成 5 12 12	有限会社ピークおはなハウス
		齋 藤 涼 香	五 段	昭 和 60 7 23	介護支援マルジュ

参加監督・選手名

【成年女子】

都道府県名	監督名	選手名	段 位	生 年 月 日	所 属
愛 知 県	佐 藤 千 早	佐 藤 美 空	四 段	平 成 14 8 14	愛知県警察
		櫻 井 空	四 段	平 成 4 8 9	三友工業株式会社
		佐 藤 千 早	六 段	昭 和 53 7 15	株式会社伊藤鉄工所
京 都 府	宮 路 早恵子	今 村 真 穂	三 段	平 成 18 3 19	国土舘大学
		尾 崎 麻 美	六 段	平 成 2 10 20	京都府警察
		宮 路 早恵子	七 段	昭 和 55 10 5	京都市立日吉ヶ丘高等学校(教)
大 阪 府	木和田 あ き	水 川 晴 奈	四 段	平 成 15 2 25	大阪府警察
		岡 崎 千 尋	六 段	平 成 7 1 10	大阪府警察
		木和田 あ き	六 段	昭 和 57 11 25	大阪府警察
岡 山 県	小津野 祐 佳	石 田 光 彩	三 段	平 成 16 10 14	関西学院大学
		二 宮 菜 美	五 段	平 成 6 5 4	就労移行支援事業所GON合同会社GONJOB
		小津野 祐 佳	七 段	昭 和 56 1 26	岡山県警察本部
愛 媛 県	馬 越 千 里	中 司 美 羽	三 段	平 成 20 3 31	中央大学
		柳 原 詩 帆	五 段	平 成 3 4 11	柳原鉄工所
		馬 越 千 里	七 段	昭 和 57 11 14	聖カタリナ大 (教)
福 岡 県	下 川 美 佳	妹 尾 舞 香	五 段	平 成 12 9 4	福岡県警察
		島 添 未奈美	六 段	平 成 1 4 23	福岡県立糸島高等学校 (教)
		下 川 美 佳	七 段	昭 和 55 8 23	久留米工業大学 (教)
熊 本 県	緒 方 有 希	海 津 ゆきえ	五 段	平 成 13 10 13	熊本県立熊本高等学校 (教)
		渡 邊 タ イ	六 段	平 成 4 8 7	熊本県警察
		緒 方 有 希	七 段	昭 和 54 11 20	菊池女子高等学校 (教)
宮 崎 県	興 梶 舞	山 崎 里 奈	五 段	平 成 12 1 5	宮崎県警察
		阿 部 久 美	六 段	平 成 2 6 13	県立高鍋高等学校(教)
		興 梶 舞	五 段	昭 和 56 8 18	BarSincerity

参加監督・選手名

【成年男子】

都道府県名	監督名	選手名	段位	生年月日	所 属
北海道	若生大輔	清水優也	四段	平成 13 6 1	札幌刑務所
		大塩泰我	五段	平成 11 4 22	北海道警察
		松井雅嗣	七段	昭和 63 5 17	北海道警察
		若生大輔	八段	昭和 52 5 1	北海道警察
		岩橋亮典	八段	昭和 42 10 18	札幌刑務所
青森県	二階幸喜	高橋樹	三段	平成 17 3 4	青森県警察
		鶴田和也	五段	平成 8 12 1	青森県警察
		山中駿	六段	平成 2 11 25	皇宮警察
		井田貴哉	七段	昭和 48 7 1	青森刑務所
		二階幸喜	七段	昭和 43 6 4	大間町立大間中学校（教）
岩手県	古館将	阿部玲惟	四段	平成 15 8 6	岩手県警察
		山口新太	四段	平成 12 2 9	岩手県立千厩高等学校（教）
		古館将	七段	平成 1 3 15	岩手県立宮古高等学校（教）
		鈴木次彦	七段	昭和 54 11 30	岩手警察署
		青木貞志	七段	昭和 45 8 18	岩手県立南昌みらい高等学校（教）
宮城県	名生伊智郎	佐藤洸太	三段	平成 16 4 22	明治大学
		千田海	五段	平成 8 10 15	宮城県警察
		武田直大	六段	平成 3 2 25	利府高等学校（教）
		菅原清輔	七段	昭和 55 11 23	宮城刑務所
		名生伊智郎	八段	昭和 44 12 27	東北管区警察学校
秋田県	国安和葉	畠山康汰	四段	平成 14 10 29	秋田県警察
		国安和葉	六段	平成 7 10 14	秋田県警察
		金澤英明	七段	昭和 59 1 26	由利本荘市消防本部
		高橋伸友	七段	昭和 50 1 7	秋田市立秋田商業高等学校（教）
		辻文彦	七段	昭和 40 11 30	秋田県立秋田西高等学校（教）
山形県	川井正喜	堀部潤哉	四段	平成 13 5 26	山形県警察本部
		石田卓也	五段	平成 7 8 19	山形県警察本部
		鈴木啓大	七段	昭和 59 12 12	山形県警察
		土門幸範	七段	昭和 54 12 25	山形県警察本部
		川井正喜	七段	昭和 45 1 10	山形県立致道館高等学校（教）
福島県	本多信弥	小檜山琢仁	四段	平成 13 8 23	丸紅株式会社
		原慧士郎	四段	平成 11 4 24	福島県警察
		桑島元則	七段	昭和 63 12 6	福島県警察
		滝内裕之	七段	昭和 55 7 29	福島県警察
		本多信弥	七段	昭和 44 4 14	福島県立本宮高等学校（教）
茨城県	有田祐二	神賀士道	四段	平成 17 8 26	筑波大学
		松崎賢士郎	五段	平成 10 9 5	筑波大学（教）
		遅野井裕樹	七段	昭和 59 5 7	茨城県警察本部警察学校
		矢口二三也	七段	昭和 56 3 23	東京拘置所
		有田祐二	八段	昭和 45 10 5	筑波大学（教）

参加監督・選手名

【成年男子】

都道府県名	監督名	選手名	段位	生年月日	所 属
栃 木 県	大 島 朗 央	飯 塚 保 斗	四 段	平 成 13 4 5	喜連川社会復帰促進センター
		安良岡 健	六 段	平 成 5 6 26	栃木県警察
		松 澤 孝 憲	六 段	昭 和 62 4 27	白鷗大学足利高等学校(教)
		白 石 賢 史	七 段	昭 和 53 12 11	栃木県警察
		大 島 朗 央	八 段	昭 和 39 12 18	アジアンテクノ(協組)
群 馬 県	石 田 寛	鈴 木 智 大	四 段	平 成 15 9 24	東海大学附属浦安高等学校(教)
		納 谷 樹	五 段	平 成 7 8 4	前橋刑務所
		下 野 裕 樹	六 段	平 成 2 2 17	群馬県警察
		藤 多 大 輔	七 段	昭 和 55 11 23	群馬県警察
		石 田 寛	七 段	昭 和 42 4 23	(有)石田不動産鑑定士事務所
埼 玉 県	菊 地 博 之	田 畑 政 樹	三 段	平 成 15 9 3	埼玉県警察
		精 松 慎 治	六 段	平 成 5 6 19	埼玉県警察
		平 野 伸一郎	七 段	昭 和 57 11 8	埼玉県警察
		橋 本 桂 一	七 段	昭 和 55 10 7	伊田テクノス株式会社
		菊 地 博 之	八 段	昭 和 45 2 28	埼玉県警察
千 葉 県	染 谷 恒 治	青 柳 佑 介	三 段	平 成 19 3 15	国土舘大学
		山 田 峻 平	五 段	平 成 9 4 25	千葉県警察
		山 本 大 喜	六 段	平 成 3 2 8	千葉県警察
		岩 下 智 久	七 段	昭 和 53 5 21	千葉県警察
		染 谷 恒 治	八 段	昭 和 41 3 15	千葉県警察
東 京 都	岩 佐 英 範	阿 部 泰 悟	四 段	平 成 14 7 12	警視庁
		竹ノ内 佑 也	六 段	平 成 5 6 3	警視庁
		遅野井 直 樹	七 段	昭 和 63 7 18	警視庁
		内 村 良 一	七 段	昭 和 55 4 21	警視庁
		岩 佐 英 範	八 段	昭 和 45 1 11	警視庁
神 奈 川 県	辻 山 和 良	大 平 翔 斗	四 段	平 成 15 1 8	神奈川県警察
		田 中 晃 司	六 段	平 成 8 11 16	神奈川県警察
		横 尾 徹	七 段	昭 和 62 9 22	神奈川県警察
		亀 井 隼 人	七 段	昭 和 55 4 21	神奈川県警察
		辻 山 和 良	八 段	昭 和 42 8 14	神奈川県警察
山 梨 県	坂 本 浩 一	金 谷 篤 史	四 段	平 成 14 12 30	山梨県警察
		坂 本 大 河	五 段	平 成 13 3 6	甲府刑務所
		依 田 祐 介	六 段	平 成 2 10 8	山梨県警察
		坂 本 浩 一	七 段	昭 和 48 12 27	甲府刑務所
		平 子 順 一	七 段	昭 和 43 4 30	甲府市立甲府商業高等学校(教)
新 潟 県	吉 田 仁	高 野 剣 斗	三 段	平 成 18 8 19	慶應義塾大学
		高 橋 徹 太	五 段	平 成 11 6 26	新潟県警察
		西 野 哲 哉	六 段	平 成 2 9 8	新潟県警察
		磴 泰 介	七 段	昭 和 51 7 2	新潟県警察
		吉 田 仁	八 段	昭 和 40 5 25	新潟旭急送(株)

参加監督・選手名

【成年男子】

都道府県名	監督名	選手名	段 位	生 年 月 日	所 属
長野県	志村圭一	宮下 昂大	四 段	平成 14 4 14	御代田町立御代田中学校（教）
		西澤 慎也	五 段	平成 8 10 9	長野県警察
		志村 圭一	七 段	昭和 57 3 2	長野県警察
		立見 顕久	八 段	昭和 47 7 5	三井住友海上火災保険株式会社 長野支店
		井上 盛夫	七 段	昭和 44 12 6	佐久市立浅間中学校（教）
富山県	井上英之	尾形 勇磨	五 段	平成 14 2 15	富山県警察
		泉 賢史	五 段	平成 7 8 6	富山県警察
		高田 拓	六 段	昭和 61 12 4	富山県警察
		井上 英之	八 段	昭和 50 7 20	富山県警察
		嶋 作勝行	七 段	昭和 38 1 25	株式会社SIMA. I
石川県	杉本卓也	割込 豪大	四 段	平成 13 11 29	金沢刑務所
		高見 将吾	五 段	平成 10 8 13	石川県警察本部警備部機動隊
		鶴城 紳太郎	七 段	昭和 63 4 5	金沢市立紫錦台中学校（教）
		星野 敏之	七 段	昭和 54 11 26	石川県警察金沢西警察署
		杉本 卓也	八 段	昭和 43 8 25	警察大学校
福井県	松井宏文	内田 駿哉	四 段	平成 14 7 19	福井県警察
		長野 和生	五 段	平成 13 1 27	福井工業大学附属福井高等学校（教）
		富田 成慈	六 段	平成 2 12 12	福井刑務所
		澤田 泰治	七 段	昭和 52 9 1	鯖江市中央中学校（教）
		松井 宏文	七 段	昭和 44 11 23	敦賀気比高等学校（教）
静岡県	高田和幸	鈴木 謙心	五 段	平成 13 10 21	県立浜松湖南高等学校（教）
		増田 優之介	四 段	平成 12 10 17	静岡県警察
		原田 政典	七 段	昭和 61 7 7	静岡刑務所
		濱田 真一	七 段	昭和 54 7 19	静岡県警察
		高田 和幸	七 段	昭和 41 12 29	行政書士 高田和幸事務所
愛知県	近本巧	小倉 浩介	四 段	平成 14 8 22	大同特殊鋼株式会社
		近本 太郎	五 段	平成 12 3 6	愛知県警察
		吉武 剛	六 段	平成 3 1 20	愛知県警察
		浦門 剛	七 段	昭和 53 8 2	愛知県警察学校
		近本 巧	八 段	昭和 45 12 5	愛知県警察
三重県	浜口浩伸	向井 崇真	三 段	平成 15 12 27	三重県警察
		鈴木 太志	五 段	平成 10 2 3	三重県警察
		山下 雄輔	六 段	平成 1 1 26	三重県警察
		渡邊 真弘	七 段	昭和 55 2 22	三重県警察
		浜口 浩伸	七 段	昭和 44 7 28	三重県警察
岐阜県	中川俊克	谷村 洸征	三 段	平成 14 10 26	株式会社パローホールディングス
		小林 賢哉	五 段	平成 10 2 21	岐阜県警察
		中川 俊克	七 段	昭和 58 8 16	岐阜県警察
		花木 真人	七 段	昭和 53 12 29	岐阜県警察
		都竹 直孝	八 段	昭和 40 9 14	日本耐酸塩工業株式会社

参加監督・選手名

【成年男子】

都道府県名	監督名	選手名	段位	生年月日	所 属
滋 賀 県	高 木 俊 治	竹 本 航 洋	四 段	平 成 13 7 22	東レ株式会社
		大 橋 宙 暉	五 段	平 成 12 4 23	滋賀県警察
		村 上 貴 彦	六 段	昭 和 60 4 13	彦根市立南中学校（教）
		竹 中 淑 浩	七 段	昭 和 50 7 24	東レ株式会社
		高 木 俊 治	七 段	昭 和 44 7 2	滋賀県警察
京 都 府	工 藤 良 仁	田 中 健 生	四 段	平 成 13 10 3	京都府警察
		菊 池 友 鷹	五 段	平 成 4 10 8	京都府警察
		安 田 英 正	六 段	平 成 2 8 23	京都府警察
		社 頭 祐	七 段	昭 和 54 6 11	京都刑務所
		工 藤 良 仁	八 段	昭 和 43 6 28	京都府警察
大 阪 府	三 浦 秀 人	木 村 恵 都	五 段	平 成 13 5 9	大阪府警察
		草 野 龍二朗	六 段	平 成 7 9 27	大阪府警察
		江 島 千 陽	七 段	昭 和 63 5 15	大阪府警察
		榎 田 康 太	七 段	昭 和 55 5 7	大阪府警察
		三 浦 秀 人	八 段	昭 和 43 11 30	大阪府警察
兵 庫 県	秋 山 雅 彦	川 上 晏 平	四 段	平 成 14 5 27	兵庫県警察
		横 山 立 太	五 段	平 成 9 11 4	兵庫県警察
		菅 野 隆 行	六 段	平 成 2 4 27	兵庫県警察
		網 代 忠 勝	七 段	昭 和 55 8 27	兵庫県警察
		秋 山 雅 彦	八 段	昭 和 42 3 25	兵庫県立網干高等学校(教)
奈 良 県	西 田 大 佐	伊 東 凜太郎	四 段	平 成 14 11 23	公益財団法人奈良県スポーツ協会
		山 内 駿	五 段	平 成 6 5 1	奈良県警察
		中 本 孝 則	七 段	昭 和 61 11 22	奈良県立郡山高等学校
		西 田 大 佐	七 段	昭 和 50 8 15	奈良県教育委員会
		廣 橋 秀 起	七 段	昭 和 45 3 13	木香房
和 歌 山 県	奥 地 慎	井 西 貴 翔	四 段	平 成 14 2 16	和歌山県警察
		小 倉 進 志	五 段	平 成 9 8 5	和歌山県警察
		末 永 将 大	六 段	昭 和 63 8 8	一般社団法人 み・ゆーじ
		山 本 高 裕	七 段	昭 和 51 3 25	おべ工業（株）
		奥 地 慎	七 段	昭 和 45 3 31	和歌山県警察
鳥 取 県	板 見 慧 人	板 見 慧 人	四 段	平 成 13 7 24	鳥取県立倉吉農業高等学校（教）
		山 本 拓	五 段	平 成 11 12 30	鳥取県警察
		川 合 佑 典	七 段	昭 和 59 4 27	鳥取刑務所
		菊 川 省 吾	七 段	昭 和 50 8 7	鳥取県立鳥取西高等学校（教）
		杉 山 尊 生	七 段	昭 和 44 5 16	弁護士法人アザレア法律事務所
島 根 県	小 村 健	加 藤 大 征	四 段	平 成 13 7 3	島根県立出雲養護学校（教）
		竹 田 圭 汰	六 段	平 成 6 11 10	江津市立青陵中学校（教）
		坂 本 秀 樹	六 段	平 成 2 2 1	島根県警察本部
		小 村 健	七 段	昭 和 55 5 5	島根県立大社高等学校（教）
		藤 田 和 弘	七 段	昭 和 45 4 1	島根県庁

参加監督・選手名

【成年男子】

都道府県名	監督名	選手名	段位	生年月日	所 属
岡山県	眞野 哲也	福永 竜大	四段	平成 17 8 17	東洋大学
		嶋井 龍希	五段	平成 10 10 9	岡山県警察本部
		原田 賢人	七段	昭和 63 8 16	倉敷市立精思高等学校（教）
		楠本 晴之	八段	昭和 48 4 7	岡山県警察本部
		眞野 哲也	七段	昭和 43 5 11	岡山県立高梁城南高等学校（教）
広島県	竹尾 開	岡本 達弥	五段	平成 13 5 6	広島拘置所
		棗田 龍介	四段	平成 12 8 4	広島県警察
		小林 桂祐	七段	昭和 56 6 25	広島県警察
		大熊 健司	七段	昭和 55 8 1	広島県警察
		竹尾 開	七段	昭和 44 12 25	巴軒
山口県	尾崎 満	琴崎 剛児	四段	平成 13 10 21	山口県警察
		河 崑 凛	四段	平成 12 11 29	山口刑務所
		橋本 光見	七段	昭和 59 9 27	山口県警察
		内田 洋平	七段	昭和 53 10 23	西日本医療サービス（株）国際ホテル宇部
		尾崎 満	八段	昭和 45 8 12	山口県立新南陽高等学校（教）
香川県	福田 大輔	井上 直太朗	四段	平成 15 8 17	香川県警察
		内堀 聡一郎	六段	平成 9 3 24	香川県警察
		松本 和明	七段	昭和 61 5 19	香川県警察
		小野 雅史	七段	昭和 49 11 8	四国矯正管区
		福田 大輔	七段	昭和 45 8 25	香川県警察
徳島県	吉田 茂生	内海 翔貴	四段	平成 17 6 18	日本体育大学
		美馬 州一	五段	平成 11 3 23	徳島県警察
		山本 義征	六段	平成 1 2 6	徳島県警察
		山室 雅幹	七段	昭和 49 3 15	徳島県警察
		吉田 茂生	八段	昭和 42 5 30	（一財）厚仁会
愛媛県	門田 睦志	矢野 秀悟	四段	平成 14 2 22	愛媛県警察
		片山 峻輔	四段	平成 12 6 21	松山刑務所
		國松 建作	六段	昭和 62 9 30	松山刑務所
		近藤 真次	七段	昭和 52 9 5	愛媛県警察
		門田 睦志	八段	昭和 44 11 3	愛媛県警察
高知県	中澤 公貴	柿本 竜汰	五段	平成 13 12 26	日高特別支援学校高知しんほんまち分校（教）
		矢野 心都	五段	平成 13 1 13	高知刑務所
		中澤 公貴	六段	平成 2 7 31	高知県警察機動隊
		高木 郁	七段	昭和 51 1 13	自衛隊高知地方協力本部
		濱田 宏	七段	昭和 41 7 2	高知商業高等学校（教）
福岡県	原 忠生	池田 虎ノ介	五段	平成 13 10 3	福岡県警察
		水田 千尋	五段	平成 12 1 3	福岡県警察
		國友 鍊太郎	六段	平成 2 9 26	福岡県警察
		森 祐輔	七段	昭和 54 12 12	福岡県警察
		原 忠生	八段	昭和 43 4 13	福岡県警察

参加監督・選手名

【成年男子】

都道府県名	監督名	選手名	段位	生年月日	所 属
佐 賀 県	碓 竜 治	川 内 夢 翔	三 段	平 成 19 3 6	国土館大学
		真 島 公 貴	六 段	平 成 6 12 2	佐賀県警察
		川 崎 輝 士	六 段	平 成 1 4 6	西日本自動車共済協同組合
		碓 竜 治	八 段	昭 和 51 3 21	武雄高等学校（教）
		北 原 哲 也	八 段	昭 和 46 2 6	鳥栖市立鳥栖中学校（教）
長 崎 県	白 石 政 雄	又 吉 奏 太	四 段	平 成 14 12 24	長崎県警察
		林 田 匡 平	六 段	平 成 6 1 12	長崎県立島原高等学校(教)
		藤 山 光 治	七 段	昭 和 59 9 23	長崎県警察
		松 尾 太 一	七 段	昭 和 53 4 19	長崎県警察
		白 石 政 雄	七 段	昭 和 45 10 20	長崎南山高等学校(教)
熊 本 県	山 本 淳	谷 口 隆 磨	四 段	平 成 13 9 28	熊本刑務所
		曾 我 貴 昭	五 段	平 成 7 10 7	熊本県警察
		佐 藤 史 和	六 段	昭 和 59 3 2	熊本刑務所
		内 田 智 久	七 段	昭 和 53 9 4	菊池市立泗水中学校（教）
		山 本 淳	七 段	昭 和 46 1 17	熊本県立水俣高等学校（教）
大 分 県	堤 幸 司	堤 光 誠	五 段	平 成 13 9 10	大分県警察
		上 村 貴 弥	五 段	平 成 7 6 23	大分県警察
		和佐野 仁 宣	六 段	昭 和 63 3 28	大分刑務所
		濱 田 耕 平	七 段	昭 和 54 12 4	大分県警察
		堤 幸 司	八 段	昭 和 45 10 2	大分県警察
宮 崎 県	夏 井 保	松 栄 翔	四 段	平 成 14 5 27	宮崎県警察
		久 保 紀 暁	六 段	平 成 6 4 3	宮崎県警察
		松 崎 亮 介	六 段	平 成 1 12 6	宮崎県警察
		山 下 穰	七 段	昭 和 55 4 30	宮崎県警察
		夏 井 保	八 段	昭 和 44 11 30	共栄建設（株）
鹿 児 島 県	和 田 修 一	濱 田 芳 久	四 段	平 成 13 4 30	鹿児島県警察 機動隊
		折 田 将 大	五 段	平 成 6 11 12	鹿児島県警察 機動隊
		遠 矢 涼	六 段	平 成 1 9 30	鹿児島県 始良警察署
		和 田 修 一	七 段	昭 和 56 2 8	鹿児島県警察本部機動隊
		白 坂 正 一	七 段	昭 和 43 1 1	鹿児島県 南さつま警察署
沖 縄 県	山 田 義 光	石 川 清 太	三 段	平 成 19 7 16	日本体育大学
		普天間 太 研	六 段	平 成 5 5 25	沖縄県警察
		上江洌 貴 大	七 段	昭 和 61 11 13	沖縄県警察
		山 田 義 光	七 段	昭 和 53 12 12	沖縄県警察
		大 浦 勲	七 段	昭 和 44 5 27	嘉手納高校（教）

#

ブロック大会参加状況

ブロック	区 分		少年男子	少年女子	成年女子
	都道府県名				
北海道	1	北海道	◎	◎	◎
	2	青森	◎	◎	◎
	3	岩手	○	○	○
	4	宮城	○	○	○
	5	秋田	◎	○	○
	6	山形	○	◎	◎
	7	福島	◎	◎	◎
関東	8	茨城	◎	◎	○
	9	栃木	◎	○	○
	10	群馬	○	◎	○
	11	埼玉	○	○	◎
	12	千葉	○	◎	○
	13	東京	◎	○	○
	14	神奈川	○	○	◎
北信越	15	山梨	○	○	◎
	16	新潟	○	○	○
	17	長野	○	○	○
	18	富山	◎	○	○
	19	石川	○	◎	◎
東海	20	福井	○	○	○
	21	静岡	◎	◎	○
	22	愛知	○	○	◎
	23	三重	○	○	○
近畿	24	岐阜	○	○	○
	25	滋賀	○	◎	○
	26	京都	○	◎	◎
	27	大阪	○	○	◎
	28	兵庫	◎	○	○
	29	奈良	◎	○	○
中国	30	和歌山	○	○	○
	31	鳥取	○	○	○
	32	島根	◎	○	○
	33	岡山	○	◎	◎
	34	広島	○	○	○
四国	35	山口	○	○	○
	36	香川	◎	○	○
	37	徳島	○	◎	○
	38	愛媛	○	○	◎
	39	高知	○	○	○
九州	40	福岡	◎	◎	◎
	41	佐賀	◎	○	○
	42	長崎	○	◎	○
	43	熊本	◎	◎	◎
	44	大分	○	○	○
	45	宮崎	○	○	◎
	46	鹿児島	○	○	○
	47	沖縄	○	○	○
ブロック代表数等 (◎)			16	16	16

◎：本大会出場権獲得都道府県

○：参加

×：不参加

過去の成績一覧表 (栄光のあと)

回	開催地	開催日	種別	団体の部		個人の部		
第7回	郡山市	昭和27年 10/20 ～21	撓競技	愛知県	内田実正 榑原正雄 近藤利雄	一般男子 一般女子 成年男子	岐阜県 埼玉県 山口県	浅川春男 和田颯子 山本亀八
第8回	内海市	昭和28年 10/23 ～24	撓競技	大阪府	須鎗修 中尾厳 田中実	一般(25才未満) 一般(40才未満) 一般(40才以上) 一般女子 高校生 学校職員	大分県 大阪府 北海道 神奈川県 香川県 高知県	田中照生 中尾厳 吉野貞吾 高野初江 福原勇 西野悟郎
第9回	旭川市	昭和29年 8/23 ～25	剣道(一般)撓競技	東京都 25才未満 25才以上 40才未満 40才以上 高知県	中島芳紀 阿部三郎 宇貫元雄 吉野龍太郎 腰山静雄 小松雅	25才未満 25才以上40以下未満 40才以上 高校生 学校教職員 一般	大阪府 東京都 大阪府 福岡県 京都府 北海道	佐藤光雄 阿部三郎 池田勇治 桑原哲哉 市野一男 杉山義男
第10回	藤沢市	昭和30年 11/1 ～3	剣道(一般)撓競技	鹿児島県 20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上 秋田県 高校生 教職員 一般	宮内美昭 倉田行考 坂口門千代 重岡昇 鶴屋寅義 門問淳夫 今巧夫 矢尾彰夫			

回	開催地	開催日	剣道（一般の部）				剣道（高等学校の部）				撓 競 技			
第11回	赤穂市	昭和31年 10/29 ～31	兵庫県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	白堀矢山乙	井田野本藤	教国太藤春	雅弘郎市雄	岡山県 鏡野高等学校	先鋒 中堅 大将	牧本貞夫 小林三留 米沢睦美	高知県	高校生 教職員 一般	小倉智 川添恵実 腰山静雄
第12回	三島市	昭和32年 10/26 ～31	静岡県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	杉山武男	鈴木登太郎	市川彦次	尾初新一	岐阜県	先鋒 中堅 大将	大前好弘 片岡守 村井幹吉	福岡県	高校生 教職員 一般	羽田征一郎 谷口安則 桑原哲哉
第13回	庄川町	昭和33年 10/21 ～23	福岡県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	太桑松緒池	田原方田	行哲幸寅	敏哉好男吞	愛知県 豊橋商業学校	先鋒 中堅 大将	森進吉 坂柳昭夫 今泉裕之			

回	開催地	開催日	剣道（一般の部）					剣道（高等学校の部）				
第14回	八王子市	昭和34年 10/27 ～29	兵庫県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	西本正彦 白井教雅 三浦経一 中尾一徹 崎元武志	宮城県 飯野川 高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	門間規矩雄 日野安春 小原邦彦 佐々木桂三郎 乳井義隆				
第15回	八代市	昭和35年 10/24 ～26	東京都	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	岩佐竜三 西山泰弘 谷崎安司 伊保清次 小室長二郎	福岡県 福岡商 業高等 学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	平野国彦 高木政義 秋山敏彦 井出清隆 池田健二				
第16回	湯沢市	昭和36年 10/10 ～12	愛知県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	吉田邦彦 恵土孝吉 中村薫郎 谷鎌吉郎 近藤利雄	宮城県 小牛田 農林高 等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	佐藤安治 首藤昭亮 千葉仁 小松弘明 佐々木洋				

回	開催地	開催日	剣道（一般の部）				剣道（高等学校の部）				剣道（教員の部）			
第17回	高梁市	昭和37年 10/21 ～26	鹿児島県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	中倉英時 石田栄助 新村富雄 溝口満雄 中倉清	岡山県 鏡野高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	藤田長久 鳥取冬紀 牧本英雄 久宗勇 益田真吾	岡山県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	米沢睦美 森本尚高 杉田八郎 高田淵知好			
第18回	萩市	昭和38年 10/28 ～30	兵庫県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	浅井戸馨 大瀬国弘 堀田太郎 矢野太市 山本藤	岡山県 鏡野高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	藤田長久 木尾登志夫 牧本英雄 米沢則正 益田真吾	高知県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	吉本貢 上岡保雄 浜田寅八郎 西野悟実 川添恵			
第19回	村上市	昭和39年 6/7 ～9	大阪府	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	白藤一郎 今田富士夫 奥園国義 甲斐利一 森弘	宮城県 小牛田農林高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	佐々木強 弘池貞利 鎌田進美 庄司俊広 小島保	新潟県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	玉木哲 吉崎直隆 高山正平 星名孝平			
第20回	関市	昭和40年 10/25 ～27	福岡県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	伊藤政彦 池田健二 古庄盛真 松原幸好 緒方寅男	岐阜県 岐阜農林高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	中田五十二 浅野隆司 武藤智彦 田幡保誠 後藤	岐阜県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	坂田実 安藤昌明 大吉二郎 村瀬正武 隆平			
第21回	杵築市	昭和41年 10/24 ～26	東京都	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	栗原正治 島本正勝 原緑房 興梶次敏 緒方惟	福岡県 柳川商業高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	森田勝利 牟田口保夫 森田秋雄 桜木俊幸 桜木哲史	大分県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	古若司 古賀正忠 植木明二 石原親			
第22回	行田市	昭和42年 10/23 ～25	埼玉県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	藤倉二三男 清水祐介 清大保和政 市川彦太郎 蓮井肇	秋田県 秋田高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	小松誠 加賀谷誠 前沢孝司 時田幸次 渡辺明	埼玉県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	吉岡泰雄 豊島正夫 山中茂樹 片倉博己 上村隆昭			

回	開催地	開催日	剣道（一般の部）					剣道（高等学校の部）					剣道（教員の部）				
第23回	福井市	昭和43年 10/2 ～4	大分県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	若松寿勝 大東正一人 青木彦正信男 春木正定男 衛藤定男	福岡県商業高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	石橋正久 桜木一俊 吉田英信義真 古賀和一 内田	福井県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	高竹林治重 黒川和行 今富満彦 岡田盛						
第24回	小浜町	昭和44年 10/27 ～29	大阪府	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	松田政明 小坂達明 小林三留政 関田秀政尊 森田信	愛媛県新田高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	米宗勇吉 石丸博之 寺沢保弘 矢野一美 門屋茂	長崎県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	柴崎悠久雄 久保或是朗 赤瀬悦禎士 田中禎博 尾博行						
第25回	福岡市	昭和45年 10/11 ～13	埼玉県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	井之口隆夫 清水祐介 野沢治雄 坂東治雄 市川彦太郎	愛知県商業高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	堀下恵一 西久保誠郎 有村逸文 中村芳正 池田守正	和歌山県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	鈴木康生 川副正文 重黒哲石 阿部謙英 木村謙竜						
第26回	高野町	昭和46年 10/25 ～27	岡山県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	行正徳治 榊原健二 池田正志 山根薫生 高田恵	岡山県東山高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	加藤忠治 庄司達志 久宗謙二 宮本彰 新家	和歌山県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	鈴木康生 川副正文 重黒哲石 阿部謙英 木村謙竜						
第27回	鹿児島県	昭和47年 10/23 ～25	大分県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	森智明 大東正一人 青木彦康生 葛城康平 小野恕	鹿児島県鹿児島商業高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	下蘭千秋 鶴蘭福夫 岩田利久 花木博志 亀之原数馬	和歌山県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	原田孝則 田代洋紀 野口慎一郎 阿部石英 鈴木康生						
第28回	館山市	昭和48年 10/15 ～17	千葉県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	佐野正男 中西安広 川畑富保 筒井榮信 飯嶋正平	千葉県安房高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	柿原直人 網代敏之 鈴木孝男 富永利彦 石橋	東京都	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	山本盛嘉 阿部孝司 安永宗司 桜木哲史 馬場欽司						
第29回	下館市	昭和49年 10/21 ～23	香川県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	兼近進 三原悦男 松田圭右 村上政喜 上原茂隆	鹿児島県鹿児島商業高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	牟礼安弘 西郷哲哉 牛浜求美 尻無博美 東良美	茨城県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	水田重利 広瀬謙一 野沢龍 飯島章 宮本安						
第30回	尾鷲市	昭和50年 10/27 ～29	神奈川県	20才未満 20才以上 30才以上 40才以上 50才以上	市丸源一 三宅一一夫 根岸陸明 有馬宗明 狩野勝義	三重県三重高等学校	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	児島政利 轟木利治 松崎貴昭 有村政弘 渕脇常弘	三重県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	楠野英人 細野信義 浜田和重 福岡重 種生勝						

回	開催地	開催日	剣道（成年の部）				剣道（少年の部）			
第31回	武雄市	昭和51年 10/25 ～27	大阪府	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	岩堀透 有馬光男 島野大洋 関田秀政 中沢芳雄	熊本県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	今田浩一 桑原辰一郎 服部起明 坂田哲男 中富一		

回	開催地	開催日	剣道（成年の部）				剣道（少年の部）						
第32回	南部町	昭和52年 10/3 ～5	東京都	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	西川清 千葉葉 平藤和 佐藤博 伊保清	紀仁夫 信次	熊本県	先次 中副大	鋒 鋒 堅 将将	今岩藍 服坂	田木沢 部田	浩清聖 起哲	一澄也 明男
第33回	中野市	昭和53年 10/16 ～18	香川県	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	村上悦 三原上 村森利 森上原 茂	誠男 済春 隆	鹿児島県	先次 中副大	鋒 鋒 堅 将将	桑川重 川重寺	原上畑 村地	慶博伸 寛種	二正久 治寿
第34回	高千穂町	昭和54年 10/15 ～17	宮崎県	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	外山光 小森邦 桑原斐 甲斐田 多	利彦明 徳作	宮崎県	先次 中副大	鋒 鋒 堅 将将	北佐新 戸国	村伯二 日市高 吉	典浩静 泰	久美一 利男青
第35回	日光市	昭和55年 10/13 ～15	埼玉県	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	中野堅 加治屋速 根岸一 大久保和 豊田正	司人雄 政長	栃木県	先次 中副大	鋒 鋒 堅 将将	岸五久 大新佐	箇保井 野	克宏正 英	己利彦 勲男
第36回	今津町	昭和56年 10/14 ～16	滋賀県	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	杉浦知 重松昌 原田幸 侯木義 林	康隆夫 良春	大阪府	先次 中副大	鋒 鋒 堅 将将	浜八岡 舟佐	地野本 津賀	雄映浩 正	一自行人 豊
第37回	大社町	昭和57年 10/4 ～6	大阪府	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	林坂本 島野上 川園田 政	朗幸山 志治	熊本県	先次 中副大	鋒 鋒 堅 将将	大下松 吉宮	橋田下 川本	一敏喜 敏	成幸寛 一雄
第38回	沼田市	昭和58年 10/16 ～18	埼玉県	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	江田泰 加治屋速 山澤茂 野治三 高橋	一人樹 雄明	群馬県	先次 中副大	鋒 鋒 堅 将将	鈴木口 田藤川 佐相原 石	仁裕正 浩一	史士則 一幸	
第39回	奈良市	昭和59年 10/13 ～15	東京都	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	桑西慶 梯川清 片柳正 永松宗 作	二紀治 作	熊本県	先次 中副大	鋒 鋒 堅 将将	荒井徳 稲高	木上永 本波	雅剛幹 進	武昭男 二治
第40回	鳥取市	昭和60年 10/21 ～23	埼玉県	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	大沢規 加治屋速 安田水 根岸一 大久保和	男人紀 雄政	鳥取県	先次 中副大	鋒 鋒 堅 将将	種牧子 岸田田 久住木 佐々	憲博日 出茂剛	司司夫 茂剛	
第41回	富士吉田市	昭和61年 10/13 ～15	山梨県	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	坂田秀 上原育 中野義 依田島	晴勲尚 憲夫	山梨県	先次 中副大	鋒 鋒 堅 将将	関三橋 萩原	野神本 原	憲昭教	司浩誠 健仁
第42回	名護市	昭和62年 10/26 ～28	沖縄県	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	鈴木康 親川光 下地洋 田場典 棚原恵	倫俊一 宣教	沖縄県	先次 中副大	鋒 鋒 堅 将将	大中金 徳玉	城村城 嶺城	尚盛秀 浩慎	之一明 明二

回	開催地	開催日	剣 道（成年の部）				剣 道（少年の部）			
第43回	京都市	昭和63年 10/16 ～18	東京都	25才未満 25才以上 35才以上 45才以上 55才以上	坂寺田林新	田敏郎 地種寿 村徹弘 義弘強 堀	熊本県	先鋒 次鋒 中堅 副将 大将	鋒 鋒 堅 将 将	高松伸博 岩根元 山本淳 佐村涉 原川博 光

回	開催地	開催日	剣 道（少年男子）				剣 道（少年女子）				剣道（成年男子2部）				剣道（成年男子1部）										
第44回	砂川市	平成元年 9/18 ～21	北海道	炭野小越笹	屋崎野善木	尚考由一春	宏史貴臣光	山形県	志繁松本鈴	田田間木	和美千公由	美紀ヨ子香	熊本県	徳桑宮	永原村	豪辰泰	男一郎秀	北海道	佐林畠山	賀山木下	聡朗隆雄勝				
第45回	行橋市	平成2年 10/22 ～25	福岡県	上尼丸小池	田岡石畔田	泰克康	輔之慶翔二	福岡県	鍋黒川三木	山岩村牧曾	玲直ま伊恵	子美り織子	福岡県	金山石	村口飛	靖征	二登治	東京都	根田遠島出	本島藤本口正	善士稔明勝次				
第46回	羽咋市	平成3年 10/13 ～16	石川県	北中石荒大	村井井門一	孝信	雄人敬隆樹	山形県	佐佐村斎後	藤藤山藤藤	恵加千由友	美奈夏紀見子	石川県	居山伊	村本賀	吉勝清	記好秀	石川県	赤村升山久	倉田谷下保	一俊和良	成也雄廣三			
第47回	寒河江市	平成4年 10/5 ～8	福島県	菅藤野小酒	野田林井	史芳雅亜潤	明伸洋人二	山形県	佐荒村斎後	藤川山藤藤	加奈千由友	子紀夏紀見子	山形県	武小安	井松部	幸美	二登雄	鹿児島県	下新前上津有	橋村原留満	和浩正昭政	彦志作廣明			
第48回	徳島市 小松島市	平成5年 10/25 ～28	佐賀県	八古増境久	木川本世	俊正靖真崇	之網志道明	熊本県	海桜迫河大	津井田野津	智美朋友	子智代子美	徳島県	玉鈴那	田木倉	晋伸文	作一夫	神奈川県	重宮三佐福	黒崎宅藤本	英正正修	俊裕一二二			
第49回	西尾市	平成6年 10/30 ～11/2	熊本県	諏訪友笠木尾	元枝村崎	大誠大友一	介郎助則英	宮崎県	甲尾甲田椎	斐前斐中葉	真智敦裕	琴恵子子祥	愛知県	藤穂大	嶋園田	直元義	也孝弘	愛知県	近北山大勝	本村嶽股	真将寿	巧一尚文彦			
第50回	二本松市	平成7年 10/15 ～18	福島県	鎌五十高菅渡	田嵐木野辺	高陽浩貴克	彰介智史礼	熊本県	田寺三緒河	尻尾宅方野	奈鮎千香朋	緒美香織子	福島県	本佐石	多藤井	信美勝	弥寿義	東京都	島出佐濱田	村崎藤崎原	剛忠勝弘	史幸信満徳			
第51回	大宮町 宮島町	平成8年 10/13 ～16	広島県	佐坂鎌平鳴	藤本倉野本	博浩洋敬一郎	紀司志猛	熊本県	緒興寺田三	方栢尾尻宅	有あ鮎奈千	希ゆみ美緒香	千葉県	柳白石	村石渡	琢哲和	也朗之	広島県	大棗原藤熊	木田原本	光英義崇	一雄士郎正			
第52回	岸和田市 藤井寺市	平成9年 10/26 ～29	大阪府	中中石永岡	田野塚井	健嘉一博晋	一郎輝史輔	熊本県	興興今福緒	栢栢藤永方	あゆみ志津香有	舞あゆみ香織希	大阪府	佐石石石島	藤田田田野	博洋利健大	光二也一洋	剣道（成年女子）			兵庫県	鈴木西丸	木西尾	範真孝	子里代

回	開催地	開催日	剣 道（少年男子）				剣 道（少年女子）				剣 道（成年男子）				剣 道（成年女子）				
第53回	箱根町	平成10年 10/25～28	熊本県	山古友小内	下澤井川村	篠晃一 伸浩一 維斗一 良	熊本県	興三下岡鳥	梶木川田居	舞央佳圭 香美香子	神奈川県	北宮宮三小	条崎崎宅林	将史正英 臣裕裕一雄	神奈川県	大高吉	塚橋田	真千美	由美秋子
第54回	菊池市	平成11年 10/24～27	熊本県	楠小河櫛古	林津野澤	桂直伸 剛祐人 涉晃	熊本県	高赤竹奈興	見星内須梶	香裕祐由 予子花舞	東京都	小平寺遠島	田口尾地藤本	享種正勝 弘泰寿明勝	東京都	朝比奈静香 寺上地浦かなえ			
第55回	庄川町	平成12年 10/15～18	神奈川県	藤八小野松雨	林卷寺本谷	修侑秀勝武 平司洋範蔵	広島県	後後鬼長谷長	澤川原	恵陽瑠祐 美子美子梓	富山県	田重高山	中富瀬門本	孝洋利重 則一夫進美	富山県	山須有	本田川	美王百	香子代
第56回	河北町 角田市	平成13年 10/14～17	宮城県	高勝深若鹿	山連堀松野	勝亮賢太郎成 彦太誠郎成	大阪府	鳥大上中木	井川原留村	優裕千知世 子佳美理	宮城県	遠佐佐加遠	藤藤藤藤	稔充明勝 正伸啓彦雄	大阪府	永幡根	尾司本	恒美道	美華世
第57回	大方町	平成14年 10/27～30	高知県	門中山近平	脇山口森山	敬晋真洋順 章吾弘平也	高知県	濱近門澤山	口森脇谷本	伶紗碧圭涼 衣希輝美子	千葉県	岩橋染柿本	下本谷原敷	智則恒直 久彦治人博	高知県	平川恒	村石	知香子 智千寿代	
第58回	藤枝市	平成15年 10/26～29	静岡県	杉原安二小	浦田田橋泉	健二典巧哉孝 政典巧哉孝	静岡県	恩今高杉景	田部浦山	望里菜穂夏 恵美美千	静岡県	内坂小金鈴	田本山木本	勝正欽桂 之崇洋悟矢	京都府	杉田豊	本中田	早恵子 百合マ	
第59回	秩父市	平成16年 10/24～27	埼玉県	井青森宮吉	口葉田前野	亮敬一郎成貴規 敬一和友	宮崎県	後深高眞菊	藤江山武池	久香智千愛 美代美郷力	埼玉県	橋米金加山	本屋田屋中	桂勇孝速茂 健裕育庸大	埼玉県	村大金	山坪子	千園優香理	
第60回	津山市 美作市	平成17年 10/23～26	岡山県	勝湯福勝森	見浅森岡原	拓浩智浩 也次之二諒	岡山県	福皿曾三美	田部宅浪	津里恵未 津美沙子依	岡山県	勝鈴横山山	見木田根根	健裕育庸大 太之生宏朗	岡山県	坪稲松	田垣田	祐恵一佳理恵	
第61回	赤穂市	平成18年 10/1～4	兵庫県	天安藤佐伴	野田田藤	佑博浩貴尚 都貴輝裕哉	大阪府	刈安藤西山	谷田山野本	百合季佳絢 恵里佳子	兵庫県	西松佐内神	村村藤濱谷	信誠明 健幸誠志文	兵庫県	久村小	保山西	佳香真奈織里	
第62回	男鹿市	平成19年 9/30～10/3	秋田県	菊齊小岩佐々	地藤松川木上	裕将謙之真 志吾助力直哉	秋田県	門畑三貝神	間澤浦田坂野	加那子咲ゆり さ理友絵	秋田県	金土辻貝鎌	森田村田田	康圭憲裕耕 臣助二昭平	秋田県	鈴中堀	木村川	理亜希子恵子	
第63回	豊後大野市	平成20年 10/4～6	大分県	井中津菅佐	上島田藤	直雅大有史 哉宏晟記明	大分県	庭厨井近大	野上藤段	奈緒美希萌織 美咲志真	大阪府	大泊中石岩	城戸尾田堀	知潤吾也透 真利	大分県	植岩西	山本	智恵美 佳泉子	

回	開催地	開催日	剣 道（少年男子）					剣 道（少年女子）				剣道（成年男子）					剣道（成年女子）					
第64回	長岡市	平成21年 10/3 ～5	新潟県	渡菊小中荒	邊池原村木	飛和徹太奎	鳥史雄亮介	新潟県	村笹布堀星	山崎施田野	まみどり真菜恵	こり美緒美	新潟県	高赤中山白	橋塚嶋崎井	吉洋直吉満	孝紀人尚満	東京都	石鈴木牛	突木木	小重さつ子	百合紀子
第65回	館山市	平成22年 10/2 ～4	千葉県	工穂大千佐	藤積貫葉藤	悦大由弘	孝輝輔樹隆	千葉県	斉矢平村森	藤上田上	みのり悠舞亜奈々	のり香美妃実	千葉県	高小染重熊	橋谷谷松切	直明恒公隆	毅徳治明夫	千葉県	鷹古山	見室崎	由紀可那子	子圭子
第66回	下関市	平成23年 10/2 ～4	山口県	原井角堺七	田堀河屋夕	崇礼亮	史彪隆司之	長崎県	山重阪小増	添松本嶺田	明麻皇	日耶子華雅	山口県	大柴榊藤廣	石田井實	洋雄大良嗣	史次輔一久	山口県	宮家石	川入村	瑠璃美あ	子帆子
第67回	関市	平成24年 9/30 ～10/2	福岡県	望富久田井	月田保村手	脩剣紀勝勝	平太郎曉哉也	岐阜県	乗三藤高二	田好田瀬宮	美絢絢美恭	紀女子咲子	岐阜県	川野亀近下	畑田山藤島	竜哲宏貴代一	也了司治一	岐阜県	竹岡荻	村安田	奈美ひろ美	緒登理美
第68回	足立区	平成25年 9/29 ～10/1	東京都	津阿平重佐	田部山黒木々	祐凌直俊陽	輝大輝介朗	岐阜県	片三小長乗	山宅角田田	果菜春美美	沙月奈咲紀	東京都	川内小平栗	崎村関尾田	輝良太和市郎	士一郎泰郎	東京都	今小島	村池村	友愛百	美子重
第69回	五島市	平成26年 10/19 ～21	長崎県	柏松鶴一牧	戸崎浜入島	祐賢貴将凜	哉士郎志祐太郎	長崎県	藤開竹本進	崎中多藤	薫菜美暖	々々帆愛佳	長崎県	浅藤小梅片	井山田山	光稔福倉	亮治秀一郎則	長崎県	原福野	口田上	理美佐代	恵子佐代
第70回	那智勝浦町	平成27年 10/3 ～5	長崎県	黒藤一松鶴	川野入崎浜	大聖将賢貴	樹那祐志郎志	長崎県	杉大堤竹藤	本園中崎	唯望麻美薫	子夏子帆子	和歌山県	藤笠杉田横	岡原山中尾	弘公紀英隆	径周敏行治	和歌山県	坂村林	口田	華佳美	乃那子紀子
第71回	二戸市	平成28年 10/8 ～10	長崎県	長松岩江松	谷尾永川崎	川倫一悠賢士郎	太郎恵仁太郎	岩手県	阿瀬高及高野	部戸橋	なる若佑杏香	み葉実樹恋	岩手県	菅古小赤下	野舘口寄川	隆享竜祐	介将弘一造	岩手県	岡中千	崎村葉	千優実	尋子央
第72回	松山市	平成29年 10/1 ～3	愛媛県	屋小政繁山	我阪本田崎	飛拓亜沙将	翔海斗楓治	愛媛県	渡瀬岩二安	邊尾中神田	真まり明夏	茜花な美子	愛媛県	村桑馬門遠	上原越田藤	哲隆啓睦寛	彦二輔志弘	愛媛県	佐馬松	野越木	李千千	奈里晶
第73回	福井市	平成30年 9/30 ～10/2	熊本県	福池小櫻重	田内川井黒	敏暢大隆祐	樹斗輝登介	福井県	田池山堤久	辺田川腰保	有二咲琴	羽花愛菜渚	東京都	竹ノ野樵岡寺	内井瓶本地	佑直豪和賢二	也樹人明郎	福井県	大山高	西田橋	な聖寿	なみ子美

回	開催地	開催日	剣 道（少年男子）				剣 道（少年女子）				剣道（成年男子）				剣道（成年女子）								
第74回	筑西市	令和元年 9/29 ～10/1	茨城県	関 佐 新 木 鈴	藤 谷 村 木	瑠 剛 恵 龍	陸 綺 史 都 生	茨城県	大 内 小 今 柿	西 藤 川 村 元	希 真 実 冴	望 葉 英 聡 月	茨城県	松 神 海 鍋 本	崎 部 老 原 山 名	賢 栄 秀 隆 和	士 司 則 弘 彦	郎 則 弘 彦	茨城県	竹 相 川	中 馬 上	美 沙 厚	帆 織 子
第75回	霧島市	中止																					
第76回	伊賀市	中止																					
第77回	宇都宮市	令和4年 10/3 ～10/5	栃木県	増 西 清 藤 土	森 野 武 田 井	勇 賢 将 康	輝 聡 也 人 頌	栃木県	毛 屋 刀 大 高	塚 川 河 松	飛 代 優 彩 由	鳥 悠 希 香 來	栃木県	大 市 鈴 藤 大	平 川 慎 太 朗	翔 真 朗	士 巧 郎 児 央	栃木県	竹 飯 関	中 塚 口	美 塚 祥	帆 瞳 子	
特別国体	霧島市	令和5年 10/8 ～10/10	鹿児島県	西 川 今 向 今	寿 内 西 井 村	弘 颯 海 隆 之 村	弘 眞 月 介 爽	鹿児島県	藤 野 平 川 盛	崎 口 山 崎 迫	奈 幸 は 抹 海	緒 華 る 緒 昊	鹿児島県	木 濱 山 竹 下	村 崎 口 中 橋	恵 翔 武 健 和	都 大 徳 郎 彦	鹿児島県	長 山 下	友 下 川	夢 美 美	希 乃 幸 佳	
第78回	神埼市	令和6年 9/28 ～9/30	佐賀県	野 志 小 弓 笹	中 岐 幡 翔 川	遥 拓 真 大	稀 海 弘 太 心	福岡県	川 吉 福 菊 橋	田 松 岡 池 本	莉 美 く 京 陽	子 織 ら 花 菜	千葉県	鈴 岡 小 蒔 染	木 健 太 明 直 恒	龍 哉 郎 徳 人 治	佐賀県	古 江 宮	川 口 崎	寛 瑠 幸	華 花 恵		
第79回	湖南市	令和7年 9/29 ～10/1	福岡県	大 矢 野 林 森	末 野 口 晃 大	雅 佑 拓 毅 颯	也 紀 秀 毅 颯	熊本県	原 櫓 大 中 武	碧 橋 迫 司 田	海 美 の 羽 葉	滋賀県	竹 杉 堀 高 大	本 野 正 城 戸	航 翔 秀 正	洋 耶 人 晃 勝	滋賀県	八 和 前	木 田 早	優 美 弥	澄 咲 香		

関 係 機 関 連 絡 先

【 実 行 委 員 会 事 務 局 】

名称	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ七戸町実行委員会	上北郡七戸町字七戸31-2	0176-58-6318

【 競 技 会 場 】

名称	所在地	電話番号
七戸町総合アリーナ	上北郡七戸町字荒熊内67-170	0176-62-2051

【 警 察 署 】

名称	所在地	電話番号
七戸警察署	上北郡七戸町字大沢57-49	0176-62-3101

【 消 防 署 】

名称	所在地	電話番号
中部上北広域事業組合中央消防署	上北郡七戸町字荒熊内159-4	0176-62-3141

【 保 健 所 】

名称	所在地	電話番号
上北保健所	十和田市西二番町10-15	0176-23-4261

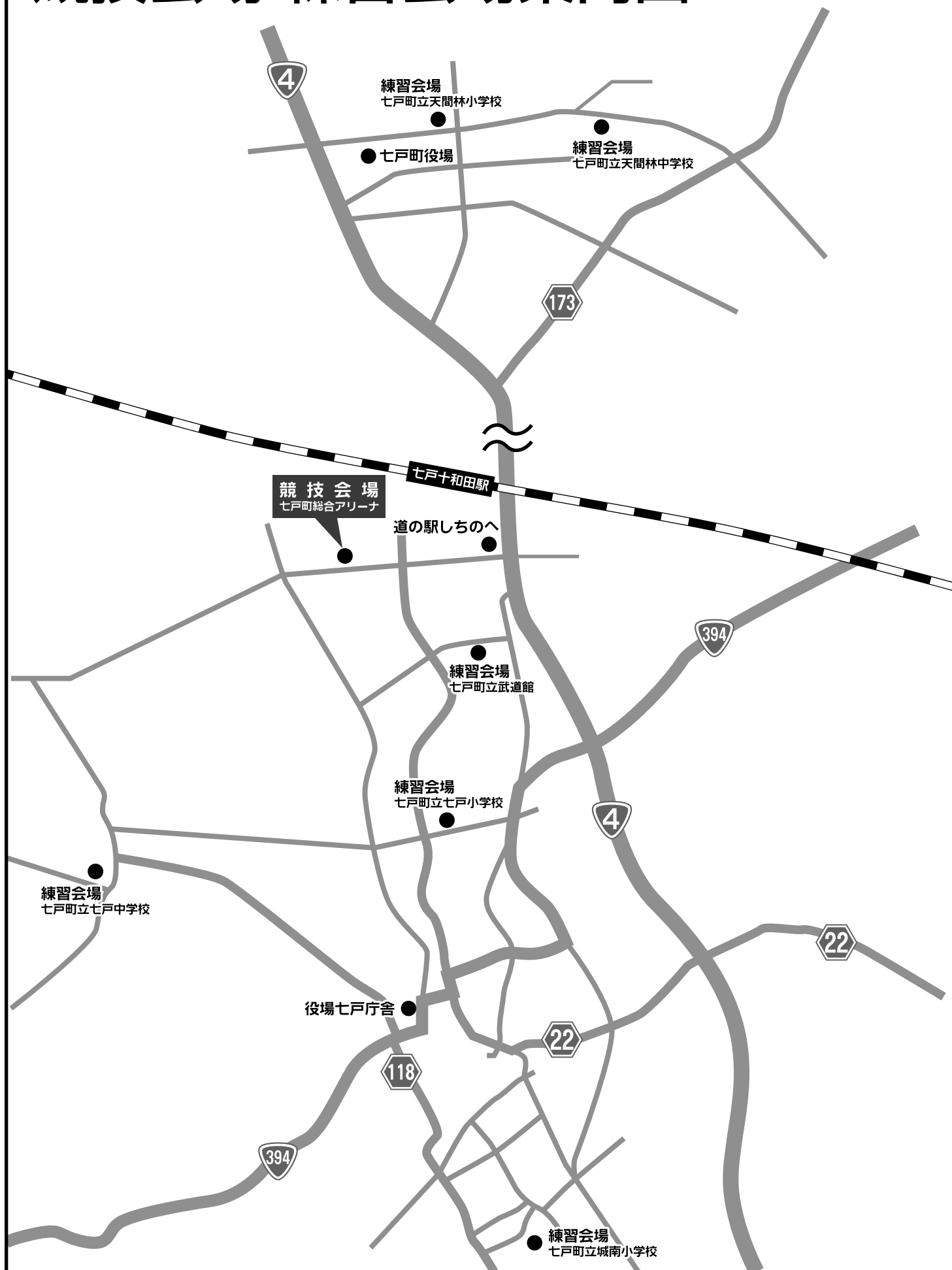
【 タ ク シ ー 】

名称	所在地	電話番号
株式会社縦貫タクシー	上北郡七戸町字荒熊内211-1	0176-62-2121

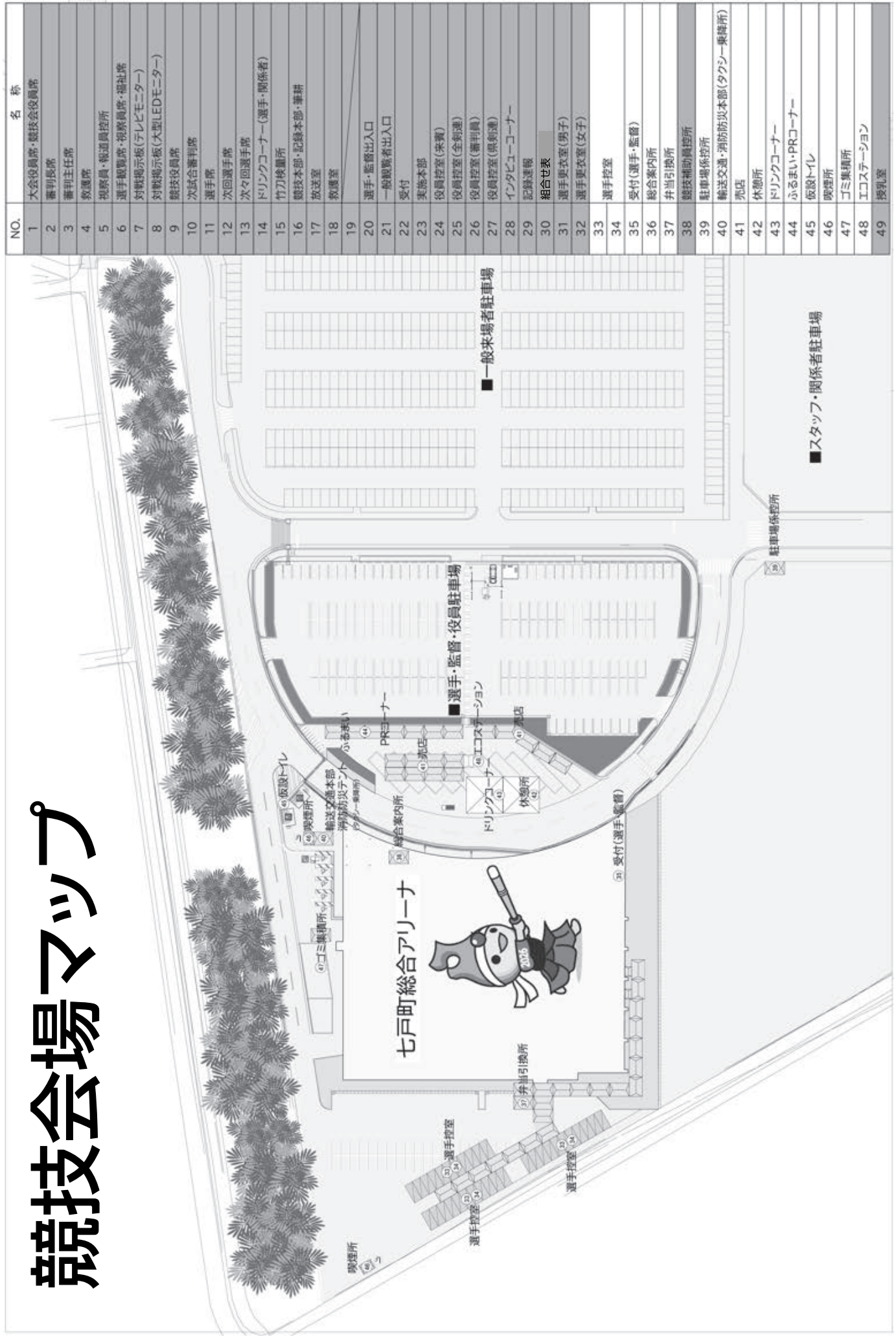
【 医 療 機 関 】

名称	所在地	電話番号
公立七戸病院	上北郡七戸町字影津内98-1	0176-62-2105
しちのへ内科クリニック	上北郡七戸町字荒熊内212-1	0176-58-6868
工藤医院	上北郡七戸町字道ノ上63-4	0176-68-2666

競技会場・練習会場案内図



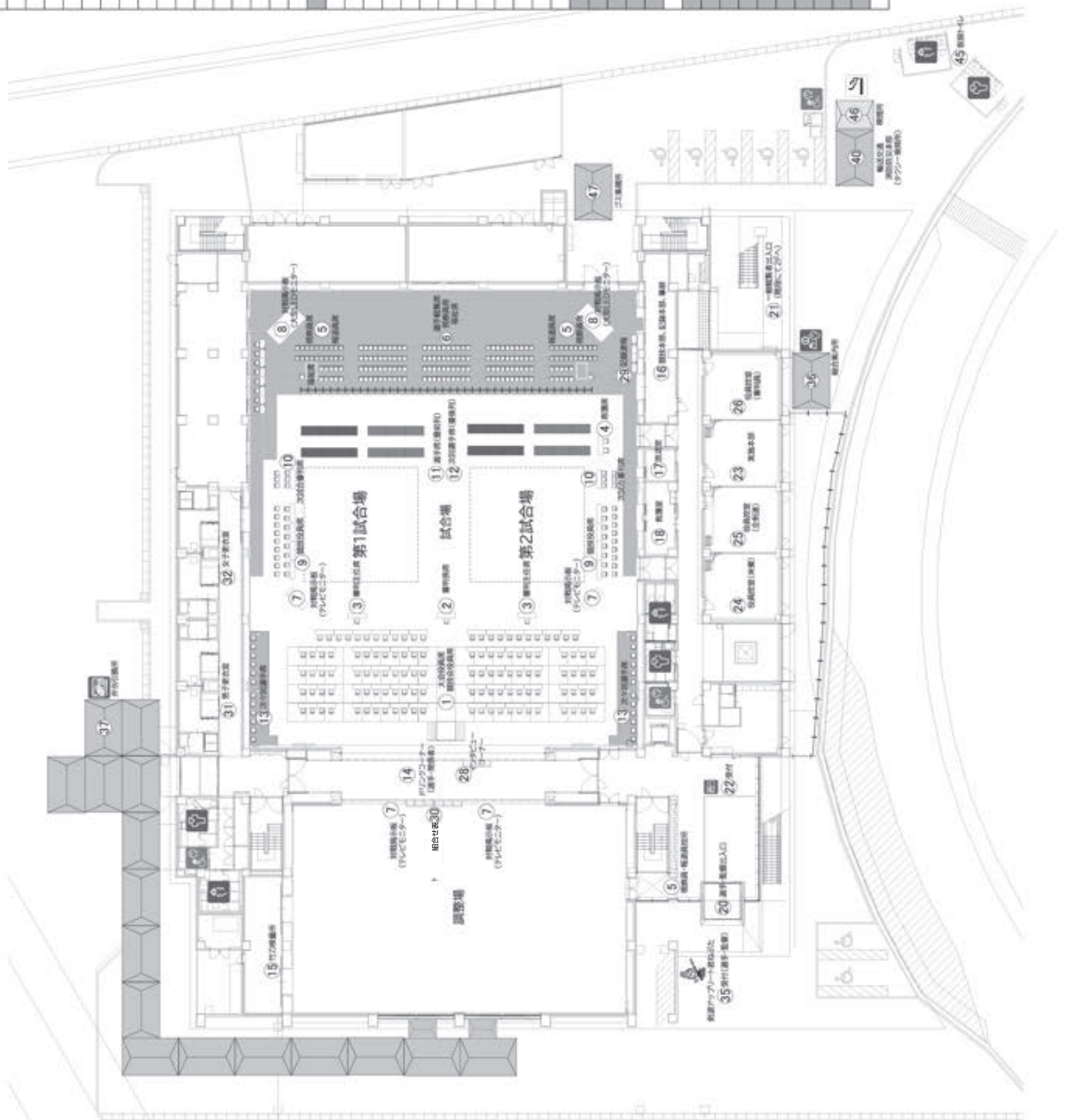
競技会場マップ



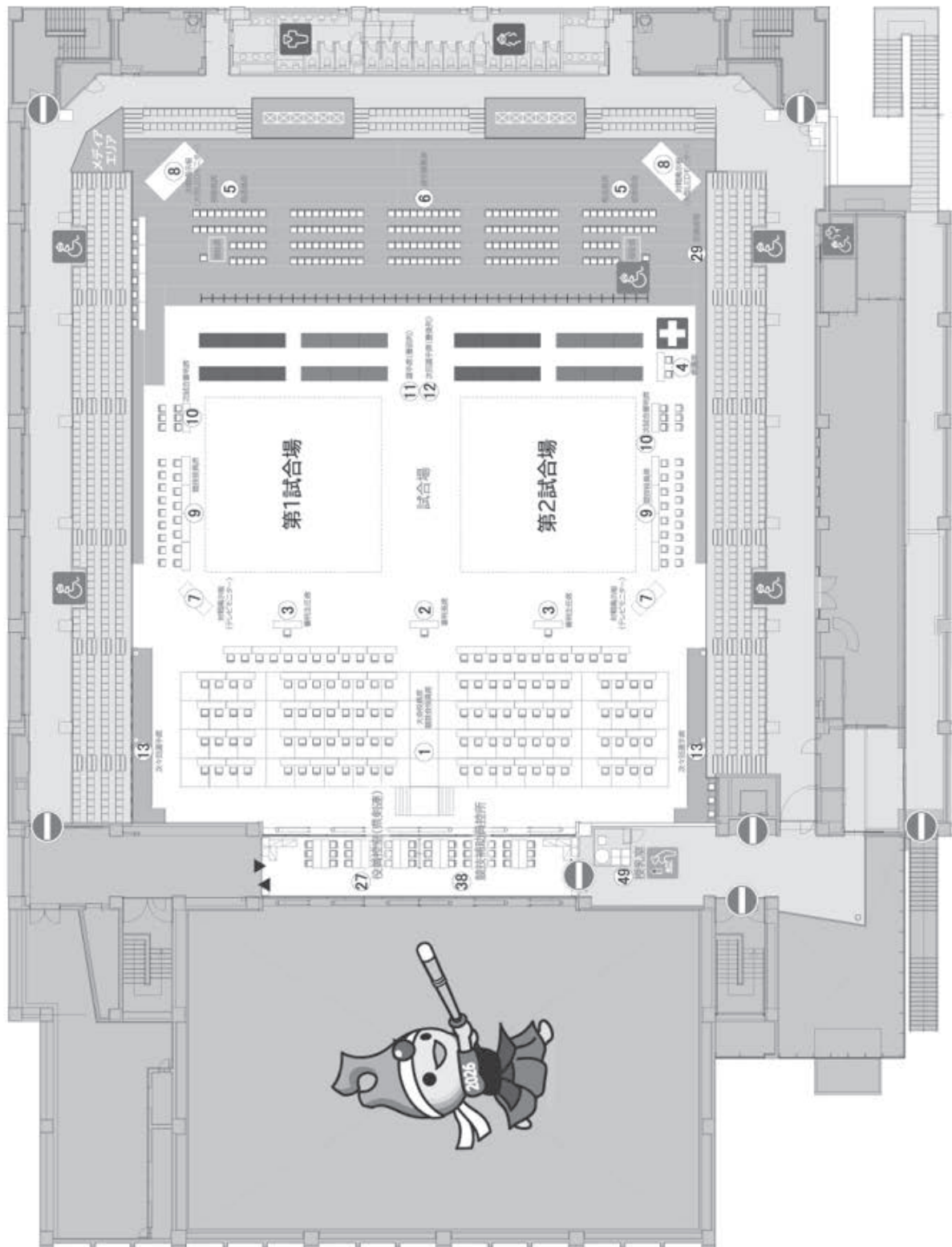
NO.	名称
1	大会役員席・競技会役員席
2	審判長席
3	審判主任席
4	救護席
5	視察員・報道員控所
6	選手観戦席・視察員席・福祉席
7	対戦掲示板(テレビモニター)
8	対戦掲示板(大型LEDモニター)
9	競技役員席
10	次試合審判席
11	選手席
12	次回選手席
13	次々回選手席
14	ドリンクコーナー(選手・関係者)
15	竹刀検量所
16	競技本部・記録本部・審判
17	放送室
18	救護室
19	
20	選手・監督出入口
21	一般観覧者出入口
22	受付
23	実務本部
24	役員控室(栄養)
25	役員控室(全剣連)
26	役員控室(審判員)
27	役員控室(剣道連)
28	インタビューコーナー
29	記録速報
30	組合せ表
31	選手更衣室(男子)
32	選手更衣室(女子)
33	選手控室
34	受付(選手・監督)
35	受付(選手・監督)
36	総合案内所
37	弁当引換所
38	競技補助員控所
39	駐車場係控所
40	輸送交通・消防防災本部(タクシー乗降所)
41	売店
42	休憩所
43	ドリンクコーナー
44	ふるまい・PRコーナー
45	仮設トイレ
46	喫煙所
47	ゴミ集積所
48	Eコステーション
49	授乳室

競技会場案内図【七戸町総合アリーナ1階】

NO.	名 称
1	大会役員席・競技会役員席
2	審判長席
3	審判主任席
4	教団席
5	相模原・報道員控所
6	選手観戦席・現況員席・福祉席
7	対戦相手席(テレビモニター)
8	対戦相手席(大規模LEDモニター)
9	競技役員席
10	次試合審判席
11	選手席
12	次回選手席
13	次々回選手席
14	ドリンクコーナー(選手・関係者)
15	竹刀練習所
16	競技本部・記録本部・事務
17	放送室
18	教団室
19	選手・観戦者出入口
20	一般観戦者出入口
21	受付
22	実務本部
23	役員控室(実務)
24	役員控室(全統)
25	役員控室(審判)
26	役員控室(関係者)
27	インタビューコーナー
28	記録速報
29	組合せ表
30	選手更衣室(男子)
31	選手更衣室(女子)
32	選手控室
33	受付(選手・監督)
34	総合案内所
35	弁当引換所
36	競技補給所
37	駐車場係控所
38	放送交通・消防防犯本部(タクシール事務所)
39	商店
40	休憩所
41	ドリンクコーナー
42	ふらまい・PRコーナー
43	仮設トイレ
44	喫煙所
45	ゴミ集積所
46	エコステーション
47	授乳室

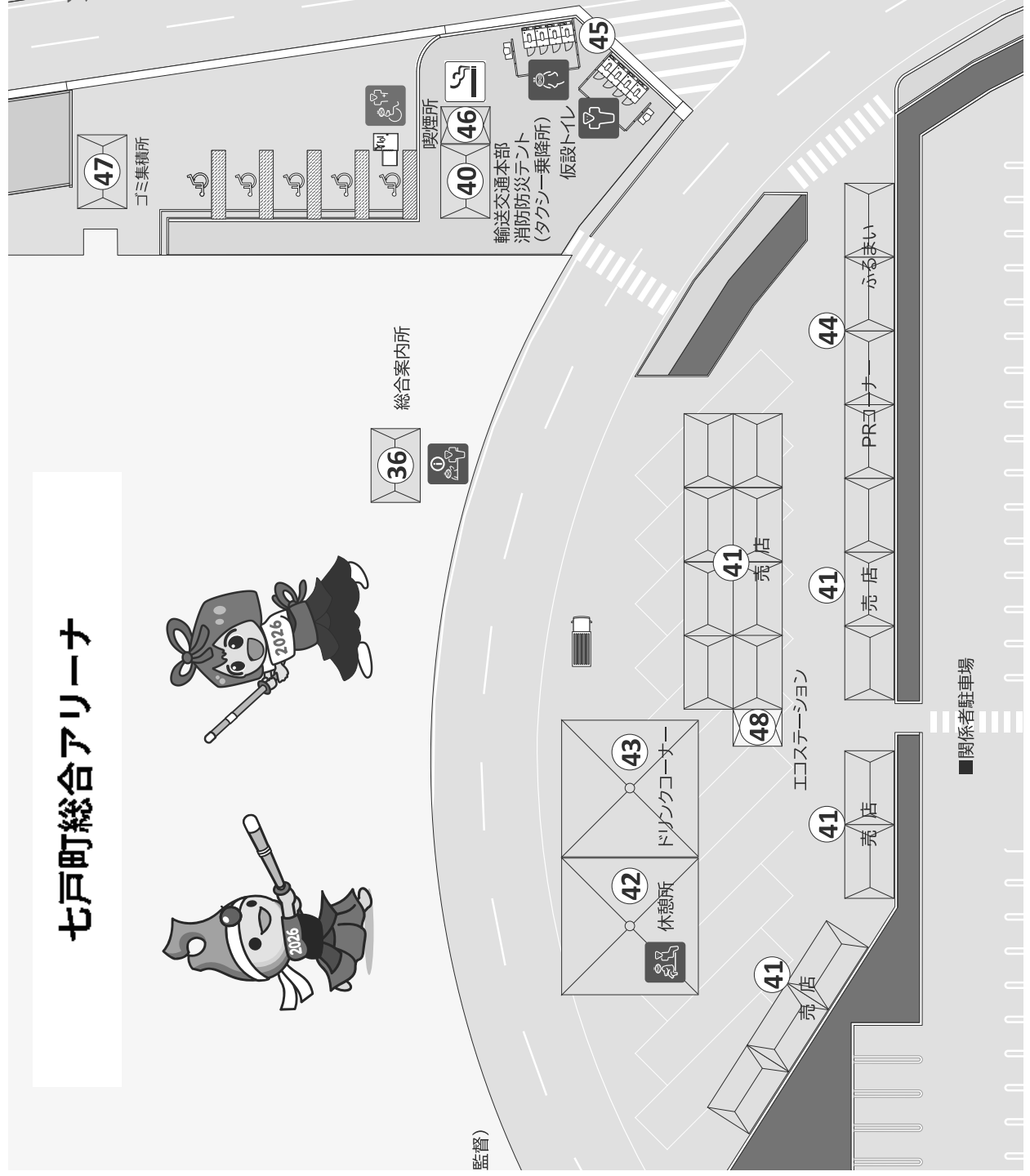


競技会場案内図【七戸町総合アリーナ2階】



NO.	名 称
1	大会役員席・観技会役員席
2	審判長席
3	審判主任席
4	審議席
5	役員員・報道員控所
6	選手観戦席・相談員席・福祉席
7	対戦掲示板(テレビモニター)
8	対戦掲示板(大型LEDモニター)
9	競技役員席
10	次試合審判席
11	選手席
12	次回選手席
13	次々回選手席
14	ドリンクコーナー(選手・関係者)
15	協力隊事務所
16	競技本部・総務本部・管理
17	医務室
18	控室
19	
20	選手・観戦出入口
21	一般観戦者出入口
22	受付
23	更衣室
24	役員控室(審判)
25	役員控室(全職員)
26	役員控室(事務局)
27	役員控室(常設)
28	イングリッシュコーナー
29	記録室
30	組合せ表
31	選手更衣室(男子)
32	選手更衣室(女子)
33	選手控室
34	交代(選手・監督)
35	交代(選手・監督)
36	組合せ内所
37	井筒引所
38	競技補助員控所
39	緊急退避所
40	施設交流・利用相談室(タワラー・事務局)
41	売店
42	休憩所
43	ドリンクコーナー
44	ふるまいPRコーナー
45	仮トイレ
46	多目的
47	ゴミ置場
48	エコエネルギー
49	授乳室

競技会場案内図【おもてなしエリア】



公益財団法人 全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)

令和8年6月30日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内	TEL03(3211)5804	FAX(3211)5807
会長 真砂 威	九段事務所	102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階	TEL03(3234)6271	FAX(3234)6007
地方代表団体	会 長	〒	事 務 局 所 在 地	電 話	F A X
(一財)北海道剣道連盟	岡 嶋 恒	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1 北海道立総合体育センター内	011(820)1662・1663	(820)1662・1663
青森県 "	三 上 順 一	038-0059	青森市大字油川字中道19-6	017(787)2485	(787)2485
秋田県 "	小 松 誠	011-0945	秋田市土崎港西5-11-10	018(838)1783	(845)3255
山形県 "	安 部 美 知 雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28	023(625)4825	(625)4826
岩手県 "	小 笠 原 宏 志	020-0133	盛岡市青山4-13-30 (公財) 岩手県体育協会会館 内	019(645)2220	(645)2220
(一財)宮城県 "	井 上 雅 勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1	022(746)8461	(746)8462
福島県 "	武 藤 土 津 夫	960-0102	福島市鎌田字町23 サラダハウスA101号	024(597)8218	(597)8218
(一財)茨城県 "	水 田 重 則	310-0903	水戸市堀町1161-13	029(251)8811	(255)6228
栃木県 "	白 石 正 範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館2階	028(624)4567	(627)4001
群馬県 "	小 林 一 隆	371-0047	前橋市関根町3-4-8 ハイツホウレン107号	027(235)0870	(235)0870
(公財)埼玉県 "	栗 原 憲 一	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎4階	048(834)8869	(834)8879
(一財)東京都 "	千 葉 胤 道	105-0004	港区新橋4-24-2	03(5405)2166	(5405)3680
(一財)千葉県 "	岩 井 啓 能	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20	043(285)4331	(285)4333
(一社)神奈川県 "	野 見 山 延	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1 相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175	(321)6176
山梨県 "	山 本 洋 一	409-3804	中央市井之口150-2	055(278)6162	(278)6163
(一財)新潟県 "	荻 莊 誠	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル2階	025(384)4784	(384)4794
(一財)石川県 "	近 藤 繁 彦	920-0811	金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号	076(253)0310	(253)0341
(一財)富山県 "	牧 本 雄 一	939-8076	富山市太郎丸2-7-7 伊勢税理士事務所内	076(492)4040	(423)6087
(一財)福井県 "	片 山 外 一	910-0015	福井市二の宮2-24-18 サンライズ二の宮 1-B	0776(28)6616	(28)6616
(一財)長野県 "	二 木 む つ み	380-0844	長野市諏訪町503	026(237)8939	(235)8266
(一社)静岡県 "	二 橋 高 弘	420-0822	静岡市葵区宮前町355	054(263)5428	(263)8367
(一財)愛知県 "	大 嶽 將 文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22	052(481)0093	(481)0095
岐阜県 "	堤 俊 彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12 岐阜県水産会館611	058(274)1521	(274)8949
三重県 "	中 森 博 文	514-0007	津市大谷町152 大谷ハイム1-202号	059(226)5975	(229)7407
(一財)滋賀県 "	中 野 正 堂	524-0022	守山市守山4-7-20 辻田ビル2階	077(514)3165	(514)3178
(一財)京都府 "	伊 吹 文 明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19-10	075(761)8288	(761)8287
(公社)大阪府 "	長 榮 周 作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1 若杉センタービル別館502号	06(6351)3345	(6351)3346
(一財)奈良県 "	吉 田 克 法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14 不動ビル505号	0742(32)5008	(32)5011
和歌山県 "	世 耕 弘 成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2	073(432)7760	(432)7759
(公財)兵庫県 "	池 田 公 律	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイツ201号	078(861)5145	(802)5240
(一財)岡山県 "	宮 川 健	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1	086(235)3255	(235)3245
(一財)広島県 "	田 中 秀 和	730-0014	広島市中区上幟町1-5	082(962)3076	(962)3087
(一財)山口県 "	堤 慶 一	753-0083	山口市後河原237-1 警察体育館別館内	083(932)5072	(932)5073
(一財)鳥取県 "	佐 伯 友 茂	680-0036	鳥取市川端3-216 瀧本ビル3階	0857(29)2668	(29)2668
島根県 "	高 木 弘 伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1 鬼村純方	0852(27)6222	(27)6222
(一財)香川県 "	三 原 悦 男	760-0033	高松市丸の内4-6 アラキビル2階南	087(880)4463	(880)4467
(一社)愛媛県 "	俊 野 徹 人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28 福泉ビル205号	089(941)9394	(941)3013
高知県 "	渡 邊 三 則	781-5102	高知市大津甲2009-34	090-1009-6857	
徳島県 "	西 谷 肇 一	770-0861	徳島市住吉3-9-6 栗本マンション106号	088(652)2337	(652)2360
(公社)福岡県 "	青 柳 俊 彦	812-0045	福岡市博多区東公園8番3号 福岡武道館内	092(712)1890	(712)1891
(一社)佐賀県 "	川 上 春 生	849-0923	佐賀市日の出2-1-11 佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184	(20)9888
(一財)長崎県 "	灰 谷 達 明	850-0036	長崎市五島町5-34 トーカンマンション1-E	095(826)5220	(826)5220
(一財)大分県 "	三 浦 悟	870-0820	大分市西大道1-1-76 第2ハルキコーポ101号	097(547)9980	(547)9981
(一財)熊本県 "	山 下 照 喜	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2 熊本武道館内	096(381)8998	(381)8998
宮崎県 "	橋 口 光 博	880-2102	宮崎市大字有田371-4	0985(62)3890	(62)3893
(一社)鹿児島県 "	小 松 信 明	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20 県立武道館内	099(255)8778	(255)8778
(一財)沖縄県 "	大 城 朝 徳	900-0026	那覇市奥武山町51-2 沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410	(996)4616

[illegible]

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こります。





JSPO

Japan Sport Association

ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りようかのう
どなたでもご利用可能！

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

「スポハラ」をなくすためには
「いかなる理由でも、指導者・
コーチによる不適切な行為は
あってはならない」

とスポーツに携わるすべての人が思うことが重要です。

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書》》



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組めます。

- ・大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ・研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ・SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ・盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ・SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ・匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



挑戦者たちは超えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



大塚製薬



MIZUNO

三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

MIZUNO SPORTS PROMOTION FOUNDATION

1970 ▶▶▶▶▶▶ 56TH ▶▶▶▶▶▶ 2026



スポーツを愛する人たちへ

私たち、ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの普及、振興に必要な事業を行い、
スポーツを愛する人たちを応援しています。



公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

競技会場地マップ

Venue map

国スポ	正式競技(37)	特別競技(1)	公開競技(7)	デモンストレーション スポーツ(39)	冬季正式競技(3)
障スポ	正式競技(14)	オープン競技(3)	(身)身体障がい者が出場できる競技 (知)知的障がい者が出場できる競技 (精)精神障がい者が出場できる競技		

東青地域

- 青森市**
- 国スポ総合開・閉会式
 - 障スポ開・閉会式
 - 陸上競技
 - 水泳(競泳)
 - 水泳(水球)
 - 水泳(アーティスティックスイミング)
 - 水泳(オープンウォータースイミング)
 - テニス
 - バレーボール(6人制)
 - バレーボール(ビーチバレーボール)
 - ハンドボール
 - ソフトテニス
 - 卓球
 - 軟式野球
 - ライフル射撃(25m)
 - ラグビーフットボール(15人制)
 - スポーツクライミング(リード・ボルダラー)
 - アーチェリー
 - ゴルフ
 - トライアスロン
- ウォークビンゴ
- カーリング
- ソフトバレーボール
- ターゲット・バードゴルフ
- ドッジボール
- 年齢別ソフトテニス
- 年齢別テニス
- ふれあいボウリング
- ユニバーサルホッケー
- ラージボール卓球
- ダンススポーツ
- 陸上競技(身・知)
- 水泳(身・知)
- アーチェリー(身)
- 卓球(身・知・精)
- サウンドテーブルテニス(身)を含む。

- 平内町**
- ゴルフ
 - 綱引
- 今別町**
- 年齢別バドミントン
- 蓬田村**
- モルック
- 外ヶ浜町**
- ベタンク

下北地域

- むつ市**
- ローイング
 - バスケットボール
 - セーリング
 - フェンシング
 - フライングディスク
 - バスケットボール(知)
- 大間町**
- ウォーキング
- 風間浦村**
- ノルディックウォーキング
- 東通村**
- ソフトバレーボール
- 佐井村**
- ふれあいソフトボール



上北地域

- 十和田市**
- サッカー
 - バスケットボール
 - 相撲
 - ゲートボール
 - バウンドテニス
 - パークゴルフ
 - Let's Enjoy バウンドテニス
 - バレーボール(身)

- 三沢市**
- ホッケー
 - バスケットボール
 - 軟式野球
 - ソフトボール
 - 銃剣道
 - 武術太極拳
 - いきいき太極拳
 - スケート(ショートトラック)
 - アイスホッケー
 - ボウリング(知)
 - 車いすバスケットボール(身)
 - デフボウリング(身)

- 野辺地町**
- ハンドボール
- 七戸町**
- 剣道
 - ブラインドテニス(身)

- 六戸町**
- 軟式野球
- 横浜町**
- マラソン

- 東北町**
- ソフトボール
 - 女子ソフトボール
 - ソフトボール(知)

- 六ヶ所村**
- ホッケー
 - 軟式野球

- おいらせ町**
- 軟式野球
 - スポーツチャンバラ
 - ファイン・ボール
 - ブラインドベースボール(身)
 - ファイン・ボール(身)

西北地域

- 五所川原市**
- バレーボール(6人制)
 - バレーボール(精)
- つがる市**
- バレーボール(6人制)
 - 柔道
 - バレーボール(知)

- 鯉ヶ沢町**
- マスターズスイミング
- 深浦町**
- ノルディックウォーキング

- 板柳町**
- ふれあいゲートボール
 - ウォーキング

- 鶴田町**
- マラソン&ウォーキング
- 中泊町**
- ビーチサッカー

中南地域

- 弘前市**
- 体操(競技)
 - 体操(新体操)
 - 体操(トランポリン)
 - ソフトボール
 - 弓道(近的・遠的)
 - ライフル射撃(50m、10m、BR・BP)
 - 空手道
- 黒石市**
- バドミントン
- 西目屋村**
- カヌー(スプリント)
 - カヌー(スラローム・ワイルドウォーター)
- 大鰐町**
- パラグライディング
 - オリエンテーリング
 - スキー(ジャイアントスラローム)
 - スキー(クロスカントリー)

- 平川市**
- ウェイトリフティング
 - グラウンド・ゴルフ
 - エアロビック
 - インディアカ
- 藤崎町**
- なぎなた
 - パワーリフティング
 - スポーツウエルネス伝承

- 田舎館村**
- ユニカール

三八地域

- 八戸市**
- サッカー
 - バスケットボール
 - レスリング
 - 自転車(トラックレース)
 - ソフトボール
 - ラグビーフットボール(7人制)
 - ボウリング
 - 空道
 - スケート(スピード)
 - スケート(フィギュア)
 - アイスホッケー
 - サッカー(知)
 - フットソフトボール(知)
- 三戸町**
- パークゴルフ
- 五戸町**
- サッカー
- 田子町**
- マラソン
- 南部町**
- サッカー
- 階上町**
- 自転車(ロードレース)
 - フロアボール
- 新郷村**
- エンジョイ!グラウンド・ゴルフ

県外

- 宮城県利府町**
- 水泳(飛込)
- 山梨県北杜市**
- 馬術
- 秋田県鹿角市**
- スキー(スペシャルジャンプ)
 - スキー(コンパインド)

